

令和6年度府中市立学校

教育課程届出の概要について

＜府中市立学校の教育課程編成に向けたグランドデザインを踏まえた教育課程＞

令和6年4月

教育部指導室

令和6年度 府中市立府中第一小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○各教科等において、学校図書館の積極的な活用や朝読書の取組、資料の活用や発表したり話し合ったりする活動を通して「主体的・対話的で深い学び」の充実を図り、思考力・判断力・表現力等を育成する。また、地域の図書館、博物館や美術館など社会教育施設の活用を図り、幅広いものの見方、感じ方、考え方や問題解決の能力を育てる。【つながる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめを生まない、いじめを許さない学校づくりに向け、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、年3回のいじめに関する授業、教員研修、いじめアンケートを実施し、組織的にいじめの未然防止・早期発見・早期解決を図る。いじめや問題行動の解決には、教育委員会をはじめとする関係諸機関と連携をとりながら組織的かつ迅速な対応をとる。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○持続可能な社会の構築を目指し、社会の課題を自らの問題として捉え、SDGsを意識した課題解決に向けて、自ら実践していくよう取り組ませる。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○地域(ふるさと府中)、国際理解、環境、福祉、情報に関する課題を柱とし、各学年の発達段階や学習内容等との関連を図り、問題解決能力や言語能力、地域貢献意識等を育てる学習活動を展開する。【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校対応では、新たな不登校を生まないために、タブレット端末を利用した「心の健康観察」等を活用する。また、児童自身や家庭状況について共感的な理解をするとともに、不登校児童に学びやすい環境(ICTの活用や登校時の居場所(サポートルーム))を整えたり、SCやSSW、関係機関と連携したりして改善を図る。【きづく】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○わくわく自然教室や日光移動教室などの自然・農業体験や宿泊体験を通して、自然に対して深く関わる活動や自分と向き合ったり他者と関わったりする活動を通して人間性を豊かにする。【たかめる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○タブレット端末を最大限活用するため、効果的な教員研修を行い、児童の発達に応じた情報活用能力を身に付けさせるとともに、情報モラルの指導を繰り返し行う。さらに、タブレット端末を利用した家庭学習の充実を図る。【たかめる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○教職員が共通理解して、問題行動の防止、薬物乱用防止教育、自他の生命を大切にすることを教育を行う。また、全ての学年において「SOSの出し方に関する教育」を実施する。【つながる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○TGGや「世界とつながる英語Enjoy Week」など体験的な活動や問題解決的な学習を通して、学ぶ喜びや分かる楽しさを実感させるとともに、学ぶ過程における言語活動の充実を図り、自ら考え、判断し、行動できる力を身に付けさせる。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○「第4次府中市特別支援教育推進計画」に基づき、障害の有無にかかわらず、すべての子供が学ぶ喜びを味わい、生き生きと学ぶ学校を実現するために、学校教育のユニバーサルデザイン化を推進する。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○セーフティ教室や薬物乱用防止教室の実施、SNS利用のルールづくり、地域安全マップづくり、「東京防災」の活用及び「生命(いのち)の安全教育」等を通じ、児童に安全な生活を実現するための判断力や知識・技能を身に付けさせる。さらに、「府中市教育委員会 防災の日」に、引き渡し訓練を実施する。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第二小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○全国学力調査を基に作成した授業改善推進プランを活用し、児童の体験的な活動や課題解決の学習を基本に、自ら考え判断し、表現する学習活動の充実を図る。また、学び合いの中で主体的・対話的で深い学びを充実させ、自力解決の時間を十分に設ける。【つながる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめに関する授業を各学年年間5回実施し、年3回のいじめに関するアンケート及び教員研修を通して、教員には「学年担任」の意識をもたせ、いじめの未然防止に努める。またトラブルが発生した時には「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対策委員会を中心に組織的に対応し、早期解決を図る。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ府中2020レガシー」では、市政施行70周年を機に「ふるさと府中」に誇りをもち、児童が持続・発展可能な社会の担い手として、主体的に学習に取り組むための意欲や人とのかかわり等、学び方の視点を明確にした指導の充実を図る。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○各教科等の学習内容と関連付けながら、環境、平和や人権等の持続可能な開発のための教育(ESD)を推進し、課題解決に向けて自ら考え、実践していく資質・能力を育成する。特に「SDGsに関わる横断的な学習」「地域と関わる体験的・探究的な学習」「地域の農業協力者の農園を活用した体験的・探究的な学習」については各学年の柱として単元を設定する。【きづく】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○スクールカウンセラーや学校経営支援員等の人材活用とともに、サポートルームのより効果的な活用を図り、タブレット端末を通じた心の健康観察さらに、家庭・地域・関係機関との連携を強化するなど、組織的・総合的な取組を通して、不登校の防止と早期対応、問題行動の未然防止及び早期解決に重点的に取り組む。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事そして、わくわく自然教室、日光移動教室などの宿泊体験学習を通して豊かな人間関係をつくるとともに、よりよい生活と望ましい集団の形成を目指す。【たかめる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○指導の重点を①体験的・探究的な学習の充実②主体的・協働的に問題解決や探究活動に取り組む態度の育成③人や自然とよりよく関わる力の育成④自ら学び、自ら考え、主体的に判断して問題を解決する資質や能力の育成とする。【たかめる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○児童の人格の完成を目指す「人間教育」の一環として、養護と連携した性教育を行い、性に対する正しい知識を身に付けさせる。また、性犯罪・性暴力の根絶の観点から「生命(いのち)の安全教育」を学校安全計画に位置付けて実施し、男女平等教育についても取り組む。【きづく】</p>	<p>③英語教育の充実 ○外国語専科やALT、外部講師等と連携を図り、身近なあいさつや場面に応じたコミュニケーション活動の充実を図る。また、各学期に1回ずつ全校で「世界とつながる英語 Enjoy Week」を実施する他、第5学年のTGGでの体験活動を通し、外国語の音声や文化、表現に慣れ親しませる。【つながる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○「第4次府中市特別支援教育推進計画」に基づき、共生社会実現の基盤づくりを推進する。そのために、特別支援学級の児童との交流及び共同学習の場を通して、障害のある児童への理解を深め、通常の学級と特別支援学級の児童相互に思いやりの心を育てる。また、学校内外の連携の緊密化を図る中で副籍交流事業を充実させる。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○安全に行動する資質・能力を身に付けさせるために、避難訓練や安全指導を毎月実施するとともにセーフティ教室を実施する。また、家庭と連携し「防災ノート ～災害と安全～」を活用する。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第二小学校(特別支援学級) 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○児童一人一人の能力・特性に応じた課題を設定し、全ての授業でユニバーサルデザインを意識し、能力別のグループ作りをするなど工夫した指導体制の下、個別最適化された効果的な指導を充実させる。【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめは、許されない人権侵害ととらえ、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、早期対応に向け、校内委員会を開き組織的に対応する。人権標語づくりやいじめ防止の授業、教員のいじめに関する研修をそれぞれ年3回実施する。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「ふるさと府中」に誇りをもつ生徒の育成に向けて、「未来へつなぐ府中2020レガシー」テーマと各教科等の学習内容を関連付けた教育活動を充実させる。社会科や総合的な学習の時間を中核に、義務教育9年間を通して地域の教育資源や社会科副読本「郷土府中」を活用し、郷土の歴史や伝統文化、地域を愛する心を学ぶ、ふるさと学習を推進する。【たかめる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○各教科等の学習のねらいを達成させる中で、個々の児童の能力や発達特性に応じて、計画的に「プログラミング的思考」を育む学習活動を児童の実態に応じて導入する。【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○保護者に対しては、これまでの親子の歴史に敬意を払うことを念頭に置き、障害への適切な理解啓発を図るとともに、障害のある児童を取り巻く地域の課題等について、共に考え、解決していくための基盤をつくる。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○宿泊体験学習では、生活に結び付いた实际的で具体的な活動を学習活動の中心とし、多種多様な経験を積みながら自発的、自主的活動を大切に学習を計画的に展開する。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○学習のねらいを明確にし、個に応じた学習材やタブレット端末をより効果的に活用しながら、実生活に生かせる基礎的な学力の定着を図る。【きづく】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○児童会活動やクラブ活動、学校行事等で全校児童、地域社会の人々との関わりを通して、経験を広め、自主性、社会性を養い、好ましい人間関係形成に資する活動の充実を図る。【つながる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○外国語専科やALTの連携、TGGでの体験活動を通して、場に応じたコミュニケーション活動を行い、外国語の音声や基本的表現に慣れ親しませる。中学年では「話す・聞く」に重点を置き、高学年では進学も見据え「書く」活動を適宜導入する。年間3回行う全校実施の「世界とつながる英語 Enjoy Week」には、個々の能力や特性を考慮して参加させ、ユニバーサルデザインを意識した取り組みを行う。【きづく】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○通常の学級との交流を通して、学級内で培った力を生かしながら、関わり方を学び、自主的に課題を解決しようとする態度を育てる。【つながる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○避難訓練では、自らが緊急時にとるべき行動を身に付けられるようにする。また「防災ノート」や「東京マイ・タイムライン」を活用する。特に、市防災の日については、中学校区内の各校との連携を密にし、地域全体で取り組めるようにする。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第三小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○ユニバーサルデザインの視点から全学級共通の形式で、板書に毎時間必ず本時のねらいを明記する。また、授業の中で「振り返り」の活動を設定し、児童の自己調整力を育成する。また、各教科等の見方・考え方を働かせることを通して、育成すべき資質・能力を育む授業を推進する。【きづく】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめ・問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応に向け、全教職員が児童理解に努める。児童が抱えている問題のサインを敏感につかみ、児童の心情に寄り沿いながら、校内委員会を活用して組織的、かつ迅速に問題解決を図る。年3回以上のいじめ防止に関する教員研修を実施する。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ 府中 2020 レガシー」では、野球やサッカー、ラグビーのトップチーム、地域や家庭の競技経験者と連携した体力向上の取り組みの充実を図る。また、府中囃子の体験活動など地域の歴史や伝統文化を探究し、ふるさと府中に誇りをもち、よりよく生きようとする力を培う。【つながる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○児童の運動能力の向上や生涯にわたりスポーツに親しむ精神を育むために投力・握力の向上に努め、日常化を図る。体力・運動能力調査の結果を分析し、コーディネーショントレーニングを生かした授業を実践し体力の向上を図る。【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校支援の体制を充実するために、「サポートルーム」を活用し、登校しぶりや不登校の児童の居場所を確保し、支援員によるタブレット端末等を生かした個別の学習を進めたり人間関係を深めたりして学級への復帰を目指す。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○第5学年では、わくわく自然教室の活動や、稲作体験等の体験活動を充実させ、自ら課題をもち、探究的に解決しようとする態度を育てる。【たかめる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○タブレット端末を積極的に活用することで、児童が自分の興味や学習ニーズに合わせ学習方法を選び、主体的に学ぶことができるようにする。さらに、ドリル型学習コンテンツを通じて学習の記録を取り、児童と教師が振り返りを行うことで、学習の進捗や課題を可視化し、自己評価や目標設定の意識を高める。【たかめる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○連携型個別指導計画の作成・活用を通して、巡回指導教員と在籍学級担任の協働・連携を促進し、児童一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を図る。また、児童の発達に応じて、心身の発育・発達における男女差や個人差を理解させるとともに、人権作文コンクールへの取り組みなどを通して「生命(いのち)の安全教育」の推進を図る。【たかめる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○外国語科・外国語活動では、英語によるアクティビティを授業に積極的に取り入れ、コミュニケーション能力の素地となる資質・能力を育成するとともに、「世界とつながる英語 Enjoy Week」では、ネイティブスピーカーを招き、児童が実際の英語に触れる機会を設けることで、コミュニケーション能力の向上を図る。また TGG(立川)での国際交流体験により異文化理解や国際感覚の育成を図る。【つながる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○校内委員会を毎月開催し、児童の課題の早期解決を図る。特別支援教育コーディネーターを複数配置して、支援レベルを基にした具体的な支援の方法を共通理解し、児童の指導に生かす。また、拠点校の特性を生かして特別支援教室ひばりと通常学級との連携を図り交流を深め、副籍交流を設定するなどして多様な特性や障害についての理解教育の推進を図る。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○学習規律や基本的な生活習慣を身に付けるために、三小スタンダードを確立し、一貫した生活指導の充実を図る。規範意識の育成や自己肯定感の向上を図るために、児童の発達段階に応じた指導に努める。特に、自分の大切さと他の人の大切さを認められるようになることを教職員は強く意識して、指導にあたる。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第四小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○各教科等の授業では学年間の系統性や単元間の関連性等を考慮しながら一単位時間のねらいを明確にし、ICTを活用しながら多様な学習方法に対応した個別最適な学びの実現と、多様な個性を最大限に生かした協働的な学びを実現し、「主体的・対話的で深い学び」を実施するための授業改善を図る。【たかめる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○地域や保護者と連携し、野菜やイネの栽培等の体験活動や、食育を中心とした健康教育を推進し、教科等との関連の中で創意工夫を生かした教育活動を充実させる。また、地域の文化や施設を学習に取り入れることで、よりよく問題を解決する資質能力を育み、自己の生き方を考えることができる児童を育成する。【たかめる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○多磨っ子グループ活動をはじめ児童会活動や行事への主体的な参加を通して、望ましい人間関係を築き、集団への所属感を深めるとともに、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。また、活動を通して得ることのできた達成感や達成感から、児童が自己肯定感を高められるようにする。【つながる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「学校いじめ防止基本方針」に則り、年3回のいじめに関する教員研修を実施し全校的な指導体制を充実させ、教育相談的な視点で一人一人の児童を理解し、いじめや非行等の未然防止に、いじめ対策委員会を中心として組織的に取り組む。自他の生命を尊重し、大切にしようとする態度を育てる。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○早期発見・早期解決に向けて「心の健康観察」を活用するとともに、学校全体で組織的かつ具体的な対応を行うために、管理職、養護教諭等関係職員、スクールカウンセラー、特別支援コーディネーター、学級担任等による校内委員会等を設置し、サポートルームの活用、保護者や関係諸機関等と連携し、当該児童及び保護者を支援していく。【きづく】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○道徳科の授業を全教育活動の要の時間として多様な指導法を推進し、自他の生命を尊重する態度や思いやりの心を育む。さらに自分の生き方を深く見つめ、道徳的価値を自覚できる指導について道徳教育推進教師を中心に推進し、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。【たかめる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○特別支援学級の児童との交流及び共同学習を通して、障害のある児童への理解を深め互いを認め合う思いやりの心を育てる。また、ふれ合いをテーマとした学習の中に、手話、アイマスク、車椅子等の福祉体験活動や学校紹介、児童の絵画を展示し鑑賞し合う等、特別支援学校との交流活動を取り入れ、共生社会の一員としてのコミュニケーション能力やボランティア精神の育成を図る。【つながる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ府中2020レガシー」のテーマに基づく児童の多様な学びを、各教科等をはじめとした全教育活動に計画的に位置付け、家庭や地域等と連携を図りながら、「四小レガシー」を構築し、国際的な視野をもって世界の平和に向けて活躍できる人材の育成を図る。【たかめる】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○地域清掃ボランティアへの小中学生の参加を促し、地域社会に貢献できる児童生徒を育てる。また、中学校の部活動体験への参加や、府中六中学区の児童会と生徒会との交流等を通して中学校生活への意欲と関心を高める。他にも宿泊体験学習等を生かした望ましい集団生活を形成し、すすんで実践する態度を養う。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○ALTと連携し、普段の授業から実際に英語を用いてコミュニケーションを図る機会を充実させる。また、TGG、世界とつながる英語 Enjoy Week を活用し、聞くこと、話すことを中心に音声面を中心とした活動を通して、言語や文化を体験的に理解し、外国語を用いて積極的に話そうとする素地を養う。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○避難訓練や地域・保護者と連携した防災訓練を通して、安全に関する情報を正しく判断し、自分の命は自分で守り、自然災害や犯罪に直面した時に適切に対応できる児童を育てる。また「防災ノート～災害と安全～」及び「東京・マイタイムライン」、「府中市防災ハンドブック」等を活用し、災害発生時に適切な行動ができる能力を養う。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第四小学校(特別支援学級) 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○各教科の授業では学年間の系統性や単元間の関連等を考慮しながら一単位時間のねらいを明確にし、特別支援教材・教具を活用しながら多様な学習方法に対応した個別最適な学びの実現と、多様な個性を最大限に生かした協働的な学びを実現し、「主体的・対話的で深い学び」を実施するための授業改善を図る。【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「学校いじめ防止基本方針」に則り、全校的な指導体制を充実させ、教育相談的な視点で一人一人の児童を理解し、いじめや非行等の未然防止に、いじめ対策委員会を中心として組織的に取り組む。自他の生命を尊重し、大切にしようとする態度を育てる。全学年で、学期始めに年3回いじめに関する授業を行うと共に全学年で「SOSの出し方に関する教育」等を活用し実施する。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ府中2020レガシー」のテーマに基づく児童の多様な学びを、各教科等をはじめとした全教育活動に計画的に位置付け、家庭や地域等と連携を図りながら、「四小レガシー」を構築し、国際的な視野をもって世界の平和に向けて活躍できる人材の育成を図る。【たかめる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○市制施行70周年に向け、各教科の単元の中に「ふるさと学習」を位置づけ、計画的に学習を進めることを通して、地域の文化(お祭り、お囃子等)や施設(美術館、図書館、郷土の森博物館、府中の森公園等)を学習に取り入れ、地域や日本の伝統文化を理解し、郷土を愛する心を育てる。【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○早期発見・早期解決に向けて「心の健康観察」を活用するとともに、管理職や養護教員と連携し、学校全体で組織的かつ具体的な対応を行う。少人数学級での児童理解のもとに、補助員や保護者、関係諸機関と連携し、不登校につながる児童の状態を早期発見・早期解決に向けて対応できるようにする。また、保護者や関係諸機関等と連携し、当該児童及び保護者を支援していく。【きづく】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○年に1回宿泊学習を実施し、身の回りのことを自分で行う態度と力を育て、中学校の宿泊学習へ繋げる。また6年生が実施する、中学校授業見学や体験授業、3学期の中学校の部活体験への参加を通して中学校生活への意欲と関心を高める。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○多磨っ子グループ活動をはじめ、児童会活動や行事への主体的な参加を通して、望ましい人間関係を築き、集団への所属感を深めるとともに、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。また、活動を通して、得ることのできた成就感や達成感から、児童が自己肯定感を高められるようにする。【つながる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○道徳科の授業を全教育活動の要の時間として多様な指導法を推進し、自他の生命を尊重する態度や思いやりの心を育む。さらに自分の生き方を深く見つめ、道徳的価値を自覚できる指導について道徳教育推進教師を中心に推進し、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。【たかめる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○ALTと連携し、身近で簡単な事柄に関する表現の意味が分かったり伝え合ったりすることを通して、外国語でコミュニケーションを図る素地を育てる。また、TGGの体験活動などを通して、聞くこと、話すことを中心に音声面を中心とした活動を通して、言語や文化を体験的に理解し、外国語を使って異なる文化をもつ人々とコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さに気付かせる。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○児童の多様な学びを実現し、特別支援の教材・教具の充実や、ユニバーサルデザインの視点に立った教室環境を整える。行事だけでなく、授業においても通常学級との共同及び交流学习を推進し、大人数での環境でも学びにチャレンジできる学校全としての組織を構築していく。【つながる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○避難訓練や地域・保護者と連携した防災訓練を通して、安全に関する情報を正しく判断し、自分の命は自分で守り、自然災害や犯罪に直面した時に適切に対応できる児童を育てる。「防災ノート～災害と安全～」等を活用し、災害発生時に適切な行動ができる能力を養う。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第五小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○各教科等で「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、話し合い活動を積極的に取り入れる。さらに、個々の児童の状態や特性をより丁寧に把握し、ICTを最大限に活用しながら、多様な子供たち一人一人に応じた個別最適な学びと、子供たちの多様な個性を最大限に生かす協働的な学びの充実を図る。【つながる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○各学習活動を進める際には、小集団によるグループ学習を基に、各教科等で身に付けた見方・考え方を相互に関連付け、それらを俯瞰して捉え、実生活に関連付けていけるように、自ら課題を見付け、情報を収集、整理・分析し、思考するという探究の活動を通して、学びの融合を図るとともに主体的な学習態度や問題解決の能力を培う。【たかめる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○学校図書館やICTなどを積極的に活用させ、自分の学習に必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる情報活用能力を育成する。情報社会におけるSNS等の正しいルールやマナーを身に付けさせるため、外部講師の出前授業やセーフティ教室の実施や「GIGA ワークブックとうきょう」「SNS 府中ルール」の活用を図り、情報モラルの指導を繰り返し行う。【きづく】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「府中市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、校内の「いじめ防止対策委員会」を中心に、年3回のいじめ教員研修、いじめの生活アンケートを実施し、いじめ等の未然防止・早期発見・早期対応を目指すとともに、学期 1 回のいじめに関する授業を実施する。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校0を目指し、不登校や学校不適応、虐待等の諸課題に対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、府中市子育て世代包括支援センター「みらい」、関連機関等との連携を深め、サポートルームに支援員を配置するなど、校内外の組織的な体制を充実させ、タブレット端末を活用した「心の健康観察」や定期的なアンケートを実施する。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習、特別支援学校との副籍交流を計画的に実施することで児童の経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、外国語教育と連携した、国際理解教育を推進し、互いを尊重し思いやる態度を育み、共生社会を生きる児童を育成する。【つながる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○「第4次府中市特別支援教育推進計画」に基づき、すべての児童が学ぶ喜びを味わい、生き生きと学ぶ学校や社会を実現するため、特別活動と各教科等の継続した往還の指導や特別支援学級「なかよし学級」等との交流学習を実施し、共生社会を生きる資質・能力の育成を図る。【たかめる】</p>	<p>義務教育 9 年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○市政施行 70 周年を機に、地域の産業や文化や身近な自然や歴史に主体的に関わる活動を通して、未来へつなぐ府中2020レガシーのテーマと府中市のよさや課題等に関連付け、よりよい未来のふるさと府中の創造に向けて何ができるかを考える教育活動を推進する。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○5年生「わくわく自然教室」、6年生「日光移動教室」の宿泊体験学習のねらいを明確にするとともに、各教科等の学習内容と関連付けるなど、教育効果が一層高まるように工夫する。【たかめる】</p> <p>③英語教育の充実 ○外国語活動においては、英語担当教員を中心に、ALT を活用しながら、TGG を活用した英語体験活動(第5学年)や「世界とつながる英語 Enjoy Week」の取組を、外国語活動・外国語科の授業の学びと関連付けて実施し、外国語を用いて進んでコミュニケーションを図ろうとする態度の育成やその能力の素地を養う。【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「防災ノート～災害と安全」「東京マイ・タイムライン」「府中防災ハンドブック」等を活用し、教科との関連を図った安全教育を充実する。避難訓練・安全指導・地域総合防災訓練・府中市教育委員会防災の日等を計画的に実施する。安全教育の充実を図り、家庭や地域社会と連携を図りながら児童の安全に対する意識を育てる。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第五小学校(特別支援学級) 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○児童の指導に当たっては、授業や教室環境にユニバーサルデザインを意識し、学年集団を基本としながら個々の発達段階を考慮したグループを編制したり、少人数での指導体制を工夫したりすることにより、「個別最適な学び」を充実させる。【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「府中市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、校内の「いじめ防止対策委員会」を中心に、年3回のいじめ教員研修、いじめの生活アンケートを実施し、いじめ等の未然防止・早期発見・早期対応を目指すとともに、学期1回のいじめに関する授業を実施する。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○市政施行70周年を機に、児童の実態に応じて、地域の産業や文化や身近な自然や歴史に主体的に関わる活動を通して、未来へつなぐ府中2020レガシーのテーマと府中市のよさや課題等を関連付け、よりよい未来のふるさと府中の創造に向けて何ができるかを考える教育活動を推進する。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○各教科等との関連を図りながら「ふるさと府中」に誇りをもてる児童の育成に向けて、発達段階に応じて、主体的に課題を設定し、解決しようとする態度を育て、探究的な学習活動を推進する。【たかめる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校0を目指し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、府中市子育て世代包括支援センター「みらい」、関連機関等との連携を深め、サポートルームに支援員を配置するなど、校内外の組織的な体制を充実させ、「心の健康観察」を活用して児童の心身状況を把握し、保護者の思いや願いにも寄り添う誠実な学校を目指す。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○体験学習では、安全に気を付けて生活する態度や公共心を育成する指導を重視するとともに、自然や社会などへの関心を深め、見通しをもって意欲的に参加しようとする力を育てる。【たかめる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○学校図書館やICTなどを積極的に活用させ、自分の学習に必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる情報活用能力を育成する。情報社会におけるSNS等の正しいルールやマナーを身に付けさせるため、外部講師の出前授業やセーフティ教室の実施や「GIGAワークブックとうきょう」「SNS 府中ルール」の活用を図り、情報モラルの指導を繰り返し行う。【きづく】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○特別活動での学びを基に、教育活動全体を通して、互いのよさや個性、成長を認め、友達と仲良くし、互いを思いやる心を育てる。【つながる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○TGGを活用した英語体験活動(第5学年)や「世界とつながる英語 Enjoy Week」の取組を通して、児童の実態に応じた国際理解教育を推進するとともに、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成やその能力の素地を養う。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○「第4次府中市特別支援教育推進計画」に基づき、すべての児童が学ぶ喜びを味わい、生き生きと学ぶ学校や社会を実現するため、特別活動と各教科の継続した往還の指導や通常の学級との交流学习を実施し、共生社会を生きる資質・能力の育成を図る。【つながる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○セーフティ教室や避難訓練・安全指導・府中市教育委員会防災の日を計画的に実施する。「防災ノート」や「東京マイ・タイムライン」「府中防災ハンドブック」を活用し、安全教育の充実を図り、家庭や地域社会と連携を図りながら児童の安全に対する意識を育てる。また、「SOSの出し方に関する教育」「生命(いのち)の安全教育」を合わせて行うようにする。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第六小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①生涯にわたって学び続けることができる子の育成 ○各教科等においてユニバーサルデザインの視点や言語活動を意図的・計画的に取り入れた授業を行い、「全ての児童にとって、楽しくよく分かる・できる」授業を目指す。また、習熟度別少人数指導や個に応じた指導を効果的に行う。あわせて、ICT 機器を効果的に活用した個別最適な学びを進めていく。【きづく】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○教育活動全体を通じて体験学習の機会の充実を図るため、地域人材等のゲストティーチャーの活用を増やし、「生きた学習」になるよう計画をしていく。【つながる】</p> <p>③児童が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○学級活動、児童会活動、クラブ活動において主体的な活動を計画・実行できるよう、話し合い活動に重点を置いて児童の自主性を尊重した指導を行う。【つながる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○児童理解を深めるために、スクールカウンセラー、学校支援員(生活指導)、家庭、地域社会、関係機関との連携を図る。また、「いじめに関するアンケート」と毎学期始めに実施する。「学校いじめ防止基本方針」等に基づいて、いじめや不登校、虐待などの事態に組織的かつ迅速に対応し、いじめを生まない、許さない学校づくりを推進する。【つながる】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○家庭やスクールカウンセラー、民生児童委員などの外部人材、関係諸機関と密に連携を取り、生活指導主任を中心とした組織的に対応できる強固な体制を確立する。また、サポートルームを効果的に活用した、不登校、登校渋りの児童を支援する体制について、教職員、支援員が連携を密にとり、支援をこれまで同様に行う。【つながる】</p> <p>③男女平等教育の推進 ○性に関する諸問題に対して、養護教諭と連携を図る等組織的に対応し、保健分野の学習を中心に児童が適切に意志決定し、行動選択をすることができる力を身に付けさせる。【きづく】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○複数の特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会の充実を図り、学校生活支援シート及び個別指導計画の作成・活用により特別な支援を必要とする児童に対する指導・支援の充実を図る。また特別支援教室専門員及び特別支援教室の巡回指導教員等と連携し、通常の学級における支援の充実を図る。【たかめる】</p>	<p>義務教育 9 年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①総合的な学習の時間「かがやきタイム」の充実 ○総合的な学習の時間「かがやきタイム」では、国際理解、情報、環境、福祉・健康等を課題に設定し、全体計画に基づき計画的に指導を行う。各学年において「ふるさと学習」に取り組む中で、SDGsの意義を学ぶことができるように配慮するとともに、ESD 教育の推進を図る。また、「未来へつなぐ府中2020レガシー」の全体計画、年間指導計画とも適切にリンクするように学習を進める。【きづく】</p> <p>②小・中を見通し、円滑な接続を図る ○「キャリア・パスポート」を有効に活用することで、キャリア教育における小学校と中学校の接続を確実なものとし、9年間を見通した継続的な学習としていく。【たかめる】</p> <p>③英語教育の充実 ○「世界とつながる英語 Enjoy Week」の取組により、全校で英語を積極的に活用したコミュニケーションを図る活動の充実を図る。【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○生活安全・交通安全・災害安全防災・非行防止、薬物乱用防止・SNS 利用などの情報リテラシー等の学びを、教科との関連を図りながら、安全教育を計画的に行う。また、「府中市教育委員会 防災の日」は、府中第五中学区で連携をして引き渡し訓練を実施し、児童の防災意識を高める。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第七小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○「個別最適な学び」を実現するために、ICTを活用し、多様な方法で学習をすすめるようにする。また「協働的な学び」を実現するために、他者と関わる活動を推進し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していくことで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめに関する教員研修、いじめに関する授業を行うことで、いじめの未然防止に努める。年3回のアンケートを実施し、実態把握を行い、早期発見・早期対応に繋げていく。【きづく】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○各教科等の学習内容と関連付け、ESDの対象となる様々な課題に取り組み、児童の自立心、判断力、責任感などの人間性を育む。また、6年間を通して地域の歴史や文化に親しみ、その意義について考え、「ふるさと府中」に誇りをもてる児童を育成する。地域の歴史に親しみ、府中との関わりを考え、将来の府中を創造する態度を育てる。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○幼稚園や保育園児、国際交流や高齢者及び地域の方々との交流を通し、人との関わりを重視した体験的な学習活動を推進する。【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○サポートルーム、タブレット端末や支援員等を活用した校内における組織的かつきめ細やかな不登校支援の体制の充実を図る。スクールカウンセラーによる面接、タブレット端末を活用した「心の健康観察」などを通していじめや不登校等の未然防止や早期発見、早期対応、早期支援を図る。【きづく】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○第5学年「わくわく自然教室」、第6学年「日光移動教室」の宿泊体験学習を各教科等と関連付けながら、教育効果を高める。【きづく】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○児童自ら課題を見つけ、主体的に判断し、よりよく問題を解決したり伝えたりするための学び方や考え方を身に付ける。そのために、学習課題を明確にし、各教科等との関連性をもたせ、計画的、体系的に育成できるよう全体計画を作成し、実施・改善を図る。【たかめる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○校内委員会を活用し、特別支援教育コーディネーターを中心に、スクールカウンセラー、特別支援教室巡回指導教員や他機関との連携を図りながら、学校生活支援シート及び個別指導計画を作成し、一人一人の教育ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。【つながる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○第3学年以上で行う「世界とつながる英語 Enjoy Week」、第5学年で行う「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を活用した英語体験活動で、英語でのコミュニケーション活動の充実を図る。【つながる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○特別支援教育コーディネーターを中心に、スクールカウンセラーや特別支援教室巡回指導教員とも連携を取りながら、校内委員会を充実したものにし、配慮が必要な児童への適切な支援を行うとともに、関係諸機関と連携し児童に寄り添った指導をすすめる。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「安全教育プログラム」や「防災教育副読本」を積極的に活用し、本校の「学校安全教育計画」に基づいた安全教育に取り組む。「七小防災会議」と連携を図り、「防災プロジェクト」を通して、地域で活躍できる人材として危険を予測し、回避する能力や社会の安全に貢献できる資質・能力を育む防災教育に努める。【つながる】</p>

令和6年度 府中市立府中第八小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○「主体的・対話的で深い学び」のある授業を、ICTを効果的に活用して実践する。学び合いによる言語活動を意図的に位置付け、思考力、判断力、表現力等を育成するとともに、カリキュラム・マネジメントにより、各教科等で身に付けた知識や技能とつなげて、課題を解決する実践的な力を育成する。【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「学校いじめ防止基本方針」に基づき、年間を通して体系的・計画的にいじめの未然防止に努める。また、ふれあい月間のいじめアンケートを実施し、早期発見・早期対応等、組織的な取組の充実を図るとともに、「いじめに関する授業」と「いじめに関する教員研修」を毎学期に行い、児童の発達段階に応じた系統的な指導の充実を図る。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○6年生では、仲間と協力して課題解決を図りながら鼓笛演奏活動に取り組む。地域の方々とともに実施している5年生での稲作活動や各学年の農作物づくり等の教育活動において、地域の力を結集し、協働体制を構築し、児童を中心に据えて学校と地域とがともに発展するための活動をより一層推進する。【つながる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」を通して、児童が主体的に学ぶ力を育成する。そのために、校内の学習環境を整えるとともに、e-ポートフォリオによる学びの蓄積を通して、自主学習を推進し家庭学習の充実を図る。【きづく】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校の未然防止に向けて、家庭・地域・関係機関との連携を強化し、学校内で情報共有を徹底して 組織的かつきめ細やかな支援体制の構築を図る。サポートルームを活用して学校での居場所を提供するとともに、タブレット端末を活用した「心の健康観察」を実施する等、不登校に歯止めをかける体制づくりに取り組む。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○日光移動教室、わくわく自然教室などを含む学校生活の様々な場面で、自ら適切な選択や決定ができるような活動を充実させ、中学校への円滑な接続を図るとともに、全学年で「キャリア・パスポート」を活用し、自己の成長が確かめられるように支援する。【たかめる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○教育活動全体を通して、効果的に学びを深めるツールとして、タブレット端末を積極的に活用し、児童が主体的に学習課題に取り組む場面や自らの学びを振り返る活動等を通して、情報処理能力を身に付けさせる。【たかめる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○学校の教育活動全体を通して、生命(いのち)の安全教育や保健分野との関連等、性に関する正しい知識を身に付けることができるようにするとともに、健康な生活を実践できる資質・能力の育成を図る。【きづく】</p>	<p>③英語教育の充実 ○外国語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ることができるように、TGG体験や「世界とつながる英語 Enjoy Week」等の取組やALTの積極的な活用を推進する。【きづく】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○府中市のガイドラインに従い、特別な配慮を必要とする児童を全教職員で適切に支えられるよう、定期的に校内委員会を開催するとともに、学校生活支援シートや連携型の個別指導計画を作成・活用し、特別支援教育の充実を図る。【つながる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○児童の様子を見守る体制を整え、些細なことから起こりうるトラブルやけが等の未然防止に努める。セーフティ教室の開催などを通じて問題行動を防止し、犯罪から自ら身を守る教育の充実を図る。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第九小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○各教科等の学習のねらいと評価規準を明確にし、「主体的・対話的で深い学び」の視点から体験活動を取り入れた授業改善に努め、適正な評価・評定を行うことで児童の主体的な学習改善を促し、指導と評価の一体化を図るとともに「学びに向かう力・人間性等」の涵養を図る。そのため、ICT機器の効果的に活用する授業を行う。また、発達段階に応じ、一部教科担任制、交換授業、合同授業等を実施し、学校「一枚岩」を合言葉に教職員全員で子供を育てる。【つながる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○課題に対して、自分もっている知識をさらに応用させ、課題の解決方法を探っていく。そして、学校生活で何か問題に直面した際にも、もち合わせている知識をベースに、問題を解決する方法を見出す力を身に付けさせる。【きづく】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○児童の主体的な活動を通して、社会的事象の仕組みや働きを学び、概念的知識を習得し、社会的な課題に対し自分事として解決策を選んだり、意見や考えを決定したりする問題解決的な学習を行う。【きづく】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「人権教育プログラム」を積極的に活用して普遍的・個別的な視点からの取組を行うことで差別意識の解消を図るとともに、「学校いじめ防止基本方針」に基づいて「いじめに関する授業」及び「いじめに関する研修」を年3回以上実施し、いじめを許さない学校を構築する。そして、定期的に「いじめ防止対策委員会」を開き、保護者と連携を図りながらスピーディーかつ組織的にいじめを解決する。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○日頃から児童との関わりを大切にされた指導を行うとともに、児童の変化に目を配り、家庭との連絡を密に行うことで連携を強化し、サポートルーム等、校内外支援体制をさらに充実させ、一人一人に応じた支援を図り、不登校ゼロを目指す。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、児童が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。【たかめる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○全ての児童にとって分かりやすく学びやすい教育を実現するために、教室前面の掲示を少なくして視覚的情報を整理するなど、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた取組を推進する。また、ふたば学級との交流及び共同学習を推進することにより、共に生きていくための豊かな心を育成する。【たかめる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ府中2020レガシー」のふるさと学習では、ふるさと府中歴史館や郷土の森博物館、地域に残る歴史的遺産を活用した調べ学習や体験的な学習を通して、「府中囃子」など郷土府中の伝統的な行事、芸能、文化遺産に親しむとともに、その意味や意義について考え、郷土府中への愛着や誇りを培う。【つながる】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○「5年わくわく自然教室」では、3泊4日の宿泊の特性を活用し、平素の学習では行うことのできない体験的学習をバランスよく取り入れて自然や人との触れ合いを充実させるとともに、学年、仲間との協力・協働を進め、心豊かでたくましい子の育成を図る。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○外国語・外国語活動での学びと「世界とつながる英語 Enjoy Week」を関連付けて、英語でコミュニケーションを図る教育活動を充実させるために、朝学習の時間や昼の校内放送等に英語の絵本の読み聞かせや歌を歌う等の実践を行う。また、TGGを通した学びから英語を言語としてではなくコミュニケーションツールとして身に付けさせる。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○学校、家庭、地域が連携して行うセーフティ教室や合同防災訓練、「府中市教育委員会 防災の日」に実施する引き渡し訓練等に参加し、防災意識を高めるとともに、自らの身を守る態度を身に付けさせる。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第九小学校(特別支援学級) 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○個々の発達段階に応じた基礎・基本の学力定着及び向上を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育成する。また、各教科等との連携を図り、タブレットの端末やインターネット等 ICT の基本的な操作や、情報モラルを身に付けられるように指導する。【つながる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「人権教育プログラム」を積極的に活用して普遍的・個別的な視点からの取組を行うことで差別意識の解消を図るとともに、「学校いじめ防止基本方針」に基づいて「いじめに関する授業」及び「いじめに関する研修」を年3回以上実施し、いじめを許さない学校を構築する。そして、定期的に「いじめ防止対策委員会」を開き、保護者と連携を図りながらスピーディーかつ組織的にいじめを解決する。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ府中2020レガシー」のオリンピック・パラリンピック教育を通じて学んだ「スポーツ」や「文化」の学習を生かし、外国語活動や様々な異文化交流等を通して、互いの言語や文化の違い、よさを認め尊重する心を養う。【つながる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○生活に密着した内容や理科的・社会的内容を、体験を通して实际的・具体的に学び、主体的活動に取り組む意欲を育てる。植物栽培やリサイクル等の学習を通し、体験的環境教育を実践する。衣食住に関する学習を通し、世界の国々の文化や習慣について理解を深める。【きづく】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○日頃から児童とのかかわりを大切に指導を行うとともに、児童の変化に目を配り、家庭との連絡を密に行うことで連携を強化し、サポートルーム等、校内外支援体制をさらに充実させ、一人一人に応じた支援を図り、不登校ゼロを継続する。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○宿泊学習の事前、事後学習を通して、身辺処理や集団参加の指導を充実させ、自立に向けた態度を養う。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○各教科等との関連を図り探究的な学習活動を推進して、主体的に学習をする力を育てる。また、プログラミング学習サイト等を利用してプログラミングの基礎を身に付け、スライド機能でプレゼンテーションを作成して発表し、順序立てて考える力を育む。【きづく】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○教育活動全体を通して、互いの考えを伝え合える環境を作り、生き物に直接触れ合う等の体験的な活動を多く取り入れた指導を行い、一人一人の能力に応じた日常生活に必要な力を育てる。【たかめる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○ALT と連携し、挨拶や自己紹介、ゲームなどの身近なコミュニケーション場面を通して、異文化に触れ、TGG での経験や「世界とつながる英語 Enjoy Week」の取組みも踏まえて積極的にコミュニケーションを図ろうとする素地を育てる。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○障害の重複化、多様化の実態を詳しく見取り、児童に合った支援に留意する。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○学校、家庭、地域が連携して行うセーフティ教室や合同防災訓練、「府中市教育委員会 防災の日」に実施する引き渡し訓練等に参加し、防災意識を高めるとともに、自らの身を守る態度を身に付けさせる。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第十小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○発表や交流の在り方を見直し、協働的な学習によって学びが深まったことを児童が実感できるようにする。【つながる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○年3回のいじめに関する教員研修、いじめに関する授業、ふれあい月間を中心とした年3回以上の児童へのアンケートを行うことでいじめや不登校、ネグレクト等の早期発見、早期対応、早期解決に向けて組織的に対応する【きづく】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○持続可能な開発のための教育(ESD)を推進するとともに、探究力とともにふるさと府中に対する愛情と誇りをもつことができるようにする。1,2年生は生活科、3,4年生は総合的な学習の時間、5,6年生は外国語科の学習でのテーマ学習を中心としながら、教科等横断的に取り組み、探究的な学習を展開する。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○わくわく自然教室や日光移動教室などの校外学習、外部講師を招いての学習など様々な教育活動を通して、望ましい生き方を調べたり考えたりさせて、未来志向の児童を育てる。【きづく】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校傾向の児童や保護者に対するケアを組織的かつ迅速に進める。毎週欠席状況を確認し、必要に応じて支援委員会を開き、サポートルームの使用やタブレット端末を活用した「心の健康観察」やオンライン授業の実施、家庭訪問や個人面談など、必要な措置を講ずる。また、外部機関とも連携を進めることで、様々な角度からのサポートを行い、早期解決に努める。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○わくわく自然教室や日光移動教室を通して、豊かな人間関係を養うとともに、自然を愛する態度や環境保全に対する心情、集団生活に対応する態度や能力等を養う。【たかめる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○児童が課題を把握し、見通しをもちながら、自ら学び方を選択する授業スタイルを充実させ、児童の思考力を育成する。【たかめる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○ユニバーサルデザインの視点にそって授業を行ったり、教室や校舎内の教育環境を整えたりしながら、すべての児童にとって学びやすい学校づくりに努める。【きづく】</p>	<p>③英語教育の充実 ○ALTや地域の外国人留学生等との交流やオンライン機能を使った交流、「Tokyo Global Gateway」での活動、「世界とつながる英語 Enjoy Week」などを通し、外国語でコミュニケーションをとることに慣れ親しむとともに、日本と外国の言語や文化の違いを知り、日本語や我が国の文化について一層理解を深めていく。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○特別支援教室拠点校として、巡回指導教員と在籍学級担当教員との連携を密に図り、個に応じた支援を行う。ICT機器についても適宜活用させ、指導の充実を図る。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○学校の実態、児童の実態に応じ、実際に起こりうる状況を設定した避難訓練を計画・実施し、自分の命を自分で守ることができる態度と能力を育む。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立武蔵台小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○各教科等の授業では計画的に「ねらい」と「授業の流れ」を示し、子供を主体とした学習の過程を実施することで、「分かる・できる」喜びや学ぶことの楽しさを実感させるようにする。また、ICT 機器やデジタル教材を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることで一人一人の学力向上に努める。【たかめる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○各教科等において、観察・実験・調査等の体験的な活動や表現活動を意図的に展開し、言語活動の質的向上を図る。また、その身に付けた能力を発揮する場として、「東京都統計グラフコンクール」や「人権作文コンクール」等の各種コンクールを計画的に指導計画に位置付ける。【たかめる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○道徳科等において、「郷土府中に根差した道徳資料」等を有効に活用した授業や道徳授業地区公開講座を実施し、子供が道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、多面的・多角的に物事を考え、自己の生き方について考える学習を行う。【きづく】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめに関する授業を各学年年3回実施する。また、年3回のいじめに関するアンケート及びタブレット端末を利用したアンケート「こころの天気予報」にて、全てのいじめについて把握できるようにすることでいじめの未然防止に努める。さらに、年3回の教員研修を通して、いじめの未然防止や組織的な解決を図れるようにする。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○児童が長期欠席をしないように日頃より自己存在感を感じさせられるように声掛けをしたり、楽しい学校生活を送れたりできるようにする。また、長期欠席児童への対応は迅速かつ組織的に実施し、サポートルームの支援員の活用や個に応じた柔軟な校内支援体制の構築を図る。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○特別支援コーディネーターを中核として、指導体制を確立し、子供の教育的ニーズに迅速かつ的確に対応する。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、家庭と子供の支援員を活用して、医療的ケア児、日本語指導が必要な児童、合理的配慮が必要な児童等にきめ細やかな対応・指導をする。【つながる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○障害の有無にかかわらず、同じ社会で生きる人間として互いを正しく理解し、支え合って生きる共生社会実現の基盤をつくるため、特別支援教室や特別支援委員会、スクールコミュニティ協議会等学校内外の連携を図っていく。また、都立府中けやきの森学園や都立武蔵台学園との副籍制度に基づく交流及び共同学習を積極的に推進する。【つながる】</p>	<p>義務教育 9 年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ 府中 2020 レガシー」では、ボランティア・マインドの醸成として、落ち葉拾いやあいさつ運動等を実施していく。また、地域の自然や遺跡等を「ふるさと府中」の題材として学習する。さらに、スポーツ志向の醸成として、アスリート等の外部講師を招いた講演会やスポーツ教室を実施していく。【つながる】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○小中連携により、学習規律「学習の心構え」、「府中第七中学校区スタンダード」等の作成を行う。また、宿泊学習での自然体験や自然環境保全への課題解決について学んだことを第七中学校区で情報共有することで、系統的な宿泊体験学習になるようにする。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○外国語の授業とTGG体験活動、「世界とつながる英語 Enjoy week」を関連付け、実際に英語を用いてコミュニケーションを図る機会を設定したり、授業外にも ALT や外国人留学生の効果的な活用の工夫を図ったりすることで英語教育の更なる充実を図る。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「防災ノート～災害と安全」の活用により、教科横断的に学習と関連付けながら安全に関する知識を高めるとともに、多様な想定避難訓練や防災訓練を行う。また、児童の自己決定の場を多く設定することで、主体的に行動できる力を育成する。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立住吉小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○児童一人一人のタブレット端末や、大型モニター、書画カメラなどのICT機器を効果的に活用し、情報教育の充実を図るとともに、児童の論理的思考力を育むためにプログラミング学習を推進する。また、それらのICT機器を上手に活用しながら、多様な児童一人一人に応じた「個別最適な学び」や児童の個性を生かす「協働的な学び」の充実を図る。【たかめる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○子供たち一人一人が現代社会の課題を自らの問題としてとらえ、各教科等の指導を通して、学習内容と関連付けながら環境や平和、人権等、持続可能な社会の構築のために解決が必要であるSDGsを意識した課題に取り組み、自律心、判断力、責任感などの人間性を育む。【きづく】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○望ましい学習習慣確立のために、家庭と連携した取組「住吉毎日10分運動」[(最低でも)学習10分×学年・読書10分・運動10分]を教育活動に位置付け、定着を図る。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○年3回以上「いじめに関するアンケート」や「いじめに関する授業」及び「いじめに関する教員研修」を実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応の取組を徹底し、全職員にはいじめ対策基本方針の共通理解のもと、いじめ対策委員会を中心に組織的に解決する。また、学校いじめ防止基本方針を見直し、地域や保護者にHPなどで周知する。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校への対応は、兆候を見逃さない校内体制を取り、校内委員会を中心に関係機関との連携を進め、保護者との連携・協力を得ながら解決を図る。タブレット端末を活用した「心の健康観察」や学習支援を充実させ、サポートルームにおける不登校対応教員を中心とした支援体制を確立し、段階的に教室復帰ができるようにする。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○いじめ・不登校対策・特別支援教育の推進を一体のものと考え、児童・保護者の困り感に寄り添った支援を組織的に実施する。その中で、校内委員会を中心に特別支援教育を推進するとともに、必要に応じて外部機関との連携を図り、児童・保護者・地域への障害に関する理解啓発を図る。【つながる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○特別な支援を必要とする児童を早期に発見するために、毎月1回、校内委員会を確実に設定し、学校全体で共通理解し、特別支援教育コーディネーターを中心として組織的な支援体制を構築していく。また、事前にスクールカウンセラーを含むコーディネーター会議を設定し、校内委員会が円滑に進められるよう議題などの精選を図るようにする。【きづく】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○ESD推進のため、生活科、社会科、理科などにおける関連内容の指導はもとより、「未来へつなぐ府中2020レガシー」の一環として、わくわく自然教室、日光移動教室などにおける体験活動の設定、総合的な学習の時間における教科等横断的な取り組みを充実させる。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○日光移動教室やわくわく自然教室などの宿泊行事を通して、体験的活動を充実させるとともに、児童相互の関わりを深め、相互理解を図りながら、望ましい集団を育成する。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○外国語活動及び外国語科の実施に当たり、「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を活用した英語体験活動や、「世界とつながる英語 Enjoy Week」の取組を基に、児童が英語でコミュニケーションを図る活動や自国文化・異文化理解などの充実を図る。【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「避難所開設訓練」として、年に1度、地域や行政と共に水害対応を含めた地域防災に関する意識を高める指導を行う。また、第5学年は総合的な学習の時間に「防災教育」を位置付け、避難所開設訓練を体験することから、地域防災の意義や、自助・共助について考えさせる機会を作る。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立新町小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○教科等横断的な学習を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善によって、各教科等の資質・能力を伸ばす授業を展開する。 【きづく】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめの授業・研修を年3回行うとともに、毎月の「いじめ実態調査」、タブレットを活用した「心の健康観察」等により一人一人の状況を把握し、未然防止・早期発見・早期対応に活用する。いじめ対策委員会を開催し、教育委員会及び関係機関と連携し、組織的かつ迅速に対応する。地域、保護者にも周知し、学校、地域、保護者が一体となって取り組む体制を構築する。【つながる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○各単元と教科やSDGsとの関連性を示した「未来へつなぐ府中2020レガシー」の全体計画と年間指導計画(ESDカレンダー)の作成に取り組み、横断的な学習を展開する。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○地域学習を指導計画の柱として、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら、考え、判断し、問題を探究する能力・態度を育てる。また、動植物との触れ合いを通して命の尊さや共に生きる素晴らしさを感じさせる。 【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校など課題がある児童の対応について、生活指導教育相談部会を開催し、学校全体で組織的に対応する。サポートルーム、タブレット端末や支援員等を活用し、教育相談機能を充実させることで組織的かつきめ細かな不登校支援の体制を充実させる。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○府中版コミュニティ・スクールの取組を推進するとともに、府中第五中学校区での「中学生ボランティア活動」や「五地区サミット」等の取組を通して、小・中連携、小・小連携を推進する。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○個々の児童の実態を把握しながら、学習の基盤となる資質・能力を育成するカリキュラム・マネジメントを進める。 【きづく】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○性に関する諸問題に対して、養護教諭と連携を図る等組織的に対応し、保健分野の学習を中心に児童が適切に意志決定し、行動選択をすることができる力を身に付けさせる。 【きづく】</p>	<p>③英語教育の充実 ○第5学年のTGGでの英語体験活動や「世界とつながる英語 Enjoy Week」等を通して英語によるコミュニケーション能力を育成する。 【つながる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○特別支援教育コーディネーターを中心として校内委員会を計画的に行い、学校全体の特別支援教育の体制を充実させる。そして、巡回指導員や特別支援教室専門員と担任が連携して個々の児童の状況を把握し、学校生活支援シートや個別指導計画を作成し、継続的な支援や指導を行っていく。 【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「府中市教育委員会 防災の日」での引き取り訓練や学校や地域の様々な災害を想定した避難訓練の計画的実施により、児童自らの安全を確保できる力を身に付ける。そして、保護者への緊急連絡体制や児童の引き渡し体制の整備を行い、訓練を実施する。 【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立本宿小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○小・中連携教育のもと、全校で一貫した連続性のある学習規律や指導技術を充実・発展させるとともに、児童全員が意欲的に参加できるよう、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図るとともに、問題解決型及び教科横断的なカリキュラムに基づいた授業改善及び目標に準拠した評価の実施に取り組む。【つながる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○体験活動や探究活動を通して学ぶ喜びや楽しさを実感させ、持続可能な社会の構築を目指し、主体的に問題解決する資質・能力を育成する。また、各教科等と関連を図り、教科等横断的にカリキュラムをマネジメントすることにより既習の知識・技能等を主体的に活用し、課題発見や問題解決する力を育成する。【つながる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○児童の深い学びの実現を図るために、効果的に ICT を活用する授業の推進により教育活動を充実・発展させる。授業では児童全員が主体的に参加し、より効果的に ICT を活用しながら互いに学び合い、深め合う授業改善の取組を通して、児童に生きて働く知識及び技能を習得させ、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等を育成し、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力や人間性等の涵養を図る。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「学校いじめ防止基本方針」に基づき、学校いじめ対策委員会の定期的な開催、いじめを生まない、許さない学校づくりに向けた年3回のいじめに関する授業の実施等、いじめの防止に全校を挙げて組織的に取り組むとともに、児童や保護者に分かりやすい言葉で「基本方針」の概要を周知し、いじめ防止への意識を高める。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○特別支援教育コーディネーターと校内委員会を中心に、児童理解・教育相談の体制を充実させる。その中で、児童や保護者との連携を密にする。また、みらい、SSW や学校経営支援員や SC 等の活用や連携により個に応じた対応、サポートルームの活用など心の居場所の確保に努め、児童の登校意欲を高める。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○校内委員会を効果的に機能させ、特別支援教室巡回指導教員との連携を深め、教室環境、教材や指導方法の改善などについての指導や助言を受け、個に応じた支援の充実を推進する。また、道徳科、各教科の中で、男女平等や性の多様性への理解、個人の尊重に関する認識と高める教育活動を充実させるなど男女平等教育の推進を行う。【たかめる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○各教科等の授業において、教材、授業形態、授業展開等の工夫を行い、すべての児童が授業の課題を「自分事」としてつかみ、それぞれの良さを生かして主体的に取り組むことができる授業及びユニバーサルデザインに基づいた学びやすい環境を目指す。【たかめる】</p>	<p>義務教育 9 年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「世界とつながる英語 Enjoy Week」「国際交流・国際理解 Week」「日本語・日本文化 Week」を設け、全校で英語に親しんだり、異文化に触れたり、「ふるさと学習」に関わりをもたせ日本の伝統文化や言葉に親しんだりする機会をつくり、平和な社会の実現に貢献する姿勢を有するグローバルな人材の育成を図る。【たかめる】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○5年生の「わくわく自然教室」では、自然の中で望ましい生活や集団づくりを学び、6年生の「日光移動教室」では、5年生の経験をもとに、自主的・自立的な学びをさらに深め、自己有用感の向上につなげる。そして、中学校において、より充実した宿泊行事を実現できるようにしていく。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○外国語科・外国語活動では、専科教員を配置し ALT と連携して指導に取り組み児童が ALT のネイティブの発音に慣れ親しむとともに、目的・場面・状況等に 応じて、外国語を聞いたり読んだりして情報や自分の考え等を整理・形成・再構築し、外国語を話したり書いたりして適切に表現する力を育成する。また、TGG やイングリッシュキヤラバンなどの体験的な学習の機会を生かし、コミュニケーション力の向上を図る。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○災害発生時に適切な行動がとれるよう、「防災ノート～災害と安全～」「東京マイ・タイムライン」「府中市防災ハンドブック」などの教材を用いて災害に対する知識を深め、より現実的な避難訓練を実施し、児童の防災への意識を高め具体的な行動を習得させる。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立白糸台小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○補充的な学習や個に応じたきめ細かい指導で学力の基礎・基本の定着を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通して、学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを推進する。【きづく】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○人権尊重の理念のもと、差別や偏見、いじめを絶対に許さない指導を徹底する。また、児童の人権感覚を培うとともに、道徳的価値観を基盤とした道徳科授業のさらなる改善・充実を図る。また、協力、生命尊重、思いやりの心を育成するため、多様な人とのかかわり合い、体験活動を充実する。【つながる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○教科等横断的及び協働的な学びの学習を通して、未知の課題を解決する資質を育成する。主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視した授業の改善を図る。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○学校いじめ防止基本方針に基づき、定期的にいじめ対策委員会を開催し、体系的・計画的にいじめの未然防止や早期発見・早期対応等、組織的な取組の充実を図る。また、学校いじめ防止基本方針は、適宜見直しを行うとともに、地域や保護者に周知し、学校、地域、保護者が一体となっていじめ防止に取り組む体制を構築する。【つながる】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校児童に対して、サポートルームを活用し、登校時の居場所づくりを行い、不登校対応のための人員配置など、校内支援体制を構築する。ICTを活用したハイブリット型の授業を展開し、学びの保障を図るとともに学校とのつながりを途切れることなく維持し、早期解決に取り組む。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○児童がよりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付けることができるように、道徳教育推進教師を中心に道徳教育全体計画に基づく計画的な実施を行う。また、保護者や地域、関係機関等と連携して、子供たちの豊かな心の育成を図る。【きづく】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○副籍交流活動や都立府中けやきの森学園との交流、障害者スポーツ交流等を通じ、障害のある子供と「共に生きる力」を育てるための特別支援教育を推進する。【たかめる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 「未来へつなぐ府中2020レガシー」においては、持続可能な社会の構築を目指し、環境や国際理解等、ESDの対象となる課題に対し、各教科等の学習内容と関連付けながら取り組む。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○第5学年「わくわく自然教室」、第6学年「日光移動教室」の中学校との系統性・連続性のある学びの実現に向け、府中第二中学校区で系統的な目標を設定し、義務教育9年間を見通した宿泊体験学習を実施する。【たかめる】</p> <p>③英語教育の充実 ○第5学年の「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を活用した英語体験活動や朝のあいさつや集会などを全学年で行う「世界とつながる 英語 Enjoy Week」を設定し、ALTや指導資料等を活用し、積極的に英語を用いてコミュニケーションをとろうとする態度を育成する。【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○教員と児童の信頼関係、児童同士の思いやる人間関係を育てるため、家庭・地域の教育力を活用し、心身の健康づくりや基本的な生活習慣・家庭学習、規範意識の定着を図る。また、年間を通して家庭・地域と一体になって安全教育を推進することにより、自助と共助の意識を高める。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立矢崎小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○学習指導要領に基づく教育課程を充実し、基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な定着とそれを活用して課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力等」の育成、課題に粘り強く調整しながら取り組む「学びに向かう力、人間性等」の涵養を図る。【たかめる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○各教科等で身に付けた資質・能力を発揮させて、ICT機器等も活用しながら探究的な学習を通して言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成を図る。【たかめる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○児童が主体的に自己や集団の課題解決を図り、自己有用感、自尊感情を高め、合意形成に向けて活動できるよう、たてわり班活動や集会活動、学級会、児童会活動やクラブ活動などの充実を図る。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「いじめに関する授業」と教職員の研修を年3回以上、「SOS の出し方に関する教育」を年1回以上全学年で実施する。また、「心の健康観察」による早期発見・早期支援を実施し、長期休業前後の相談体制の設立、家庭・地域と連携した見守りの体制の構築を図る。【つながる】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○新たな不登校を生まないために、異校種間での引継ぎを確実にを行う等、不登校予防に向けた行動連携を図る。また不登校児童に対しては定期的に校内委員会を開いて SC や SSW、学校と家庭の支援員等を活用し、個々の状況等に応じた学習活動や情報提供等の支援を行う。タブレット端末を活用した学習支援やサポートルームの設置を行い、不登校児童の社会的な自立を促す。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○教育活動全体を通して男女の本質的平等等について児童に理解させるとともに、その認識を高めるために教職員の研修の実施や学校における固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の確認や見直しを推進する。【きづく】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○個に応じた合理的配慮、ユニバーサルデザインを意識した授業を展開し、全ての児童が「分かる・できる」授業を創造する。また支援を必要とする児童に対して、組織的な対応を図るため校内委員会を開催し、関係諸機関や家庭と連携した指導を推進し、通常の学級における支援の充実を図る。【つながる】</p>	<p>義務教育 9 年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○ボランティア・マインドの醸成として地域清掃活動や落ち葉拾い集会、自然・環境としての多摩川や「ふるさと府中」を題材とした総合的な学習の時間などを行う。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○第5学年のわくわく自然教室、第6学年の日光移動教室において、集団での課題解決型体験学習や自然体験学習を充実させ、発達段階や系統性を見据えて人間関係を築く力や集団活動を通じた社会性を育成する。また、各教科等の学びと関連付けた計画・実施をする。【きづく】</p> <p>③英語教育の充実 ○ALT や指導資料等を活用し、積極的にコミュニケーションをする態度を育成する。また、第5学年での「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を活用した英語体験活動や第3学年以上全学年を対象にした「世界とつながる英語 Enjoy Week」での取組を通して、児童が英語でコミュニケーションを図る活動の充実を図る。【たかめる】【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○交通安全教室、セーフティ教室だけでなく、水害を想定した避難訓練の実施等、安全教育を充実させる。さらに、毎月1回の安全指導朝会を通して児童自らが安全に行動し、地域社会の安全に貢献できる資質や能力を育成する。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立若松小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して“個別最適な学び”の充実と“授業のユニバーサルデザイン化”に一体的に取り組み、児童が学習指導要領に示された内容を確実に習得し、資質・能力を身に付けられるようにする。また、大学と共同研究に係る協定を締結し、協働で学習障害等学習に困難のある児童のための学習支援について実証的研究を行う。【たかめる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○“学びに向かう力、人間性等”の育成に向けては、学校周辺の環境や人材の活用、競技のトップチームなど民間事業者等との連携による“本物授業”を取り入れ、児童の「学びたい」気持ちをはぐくみ、かなえる取組を重視する。【つながる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○“PBL型授業”を取り入れ、児童が自ら課題を設定し、自ら解決する能力の育成を重視する。また、児童が自身の考えを深められるよう、タブレット端末を適切に活用しながら言語活動を充実する。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得る」との認識の下、いじめの未然防止や早期対応に努めるだけでなく、タブレット端末を活用した定期的なアンケート“こころの天気予報”を実施するなど、すべてのいじめについて把握できるよう取組の充実を図る。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○児童主体の“絆づくり”と教職員主体の“居場所づくり”をスローガンに、サポートルームを中心とした組織的な不登校対策を徹底する。校内ではいじめ・不登校対策委員会において、校外では要保護児童対策地域協議会に属する組織や専門家と情報共有を積極的に行う。また、長期欠席児童への対応には、タブレット端末の活用と支援員の活用を一層強化する。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○東京都立府中けやきの森学園の児童との副籍交流を行い、交流活動を行うことによって相互理解を深め、障害の有無にかかわらず互いを尊重し支えあいながら暮らす“共生地域”の実現に向け、児童一人一人の他者を大切にしようとする態度をはぐくむ。【たかめる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○特別支援教室拠点校として、児童個々の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導及び支援の在り方を確立していくために、研究機関や民間企業と協働で“個別最適な学び”の充実と“学びのユニバーサルデザイン化”を一体的に実現するための取組を推進する。【たかめる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○持続可能な開発のための教育を基盤として“未来へつなぐ府中2020レガシー”の取組を推進するとともに、本校の持続可能な教育活動を第2学年以上で実施する。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○学校間の円滑な接続に向け、保幼小連携、小・中連携等“連携教育”を一層推進する。浅間中学校、府中第二小学校と学習に取り組む心構えや態度について共通に指導する。【たかめる】</p> <p>③英語教育の充実 ○中学校区で進める「世界とつながる英語 Enjoy Week」やTOKYO GLOBAL GATEWAYの活用を通して児童が英語でコミュニケーションを図る教育活動を充実する。また、第3・4学年は学年で選任する担当教諭が、第5・6学年は専任の講師が指導に当たるとともに、デジタル教科書等のデジタル教材の活用を促進する。【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○防災教育副読本「防災ノート～災害と安全～」、「東京マイ・タイムライン」、「府中市防災ハンドブック」等を積極的に活用し、「府中市教育委員会 防災の日」の取組等災害を想定した訓練の計画的な実施を通して、実践的な防災教育の充実を図る。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立小柳小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○教科担任制の実践を柱として、どの学級でも子供たちが主体的に問題を解決する学習スタイルを確立する。自らの考えを形成したり他者と協働しながら合意形成を図ったりする活動や振り返り活動を通して、学ぶ意義や喜び、成長を確認できるようにする。【つながる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○小柳型の問題解決的な学習のスタイルとして、学習計画を立て見直しをもつ活動、自力で追究する活動、友達と学び合い考えを広げたり深めたり修正したりする活動、全体で共有したりさらに深めたりする活動、自分の学びを振り返ったり次の見直しをもったりする活動を重視する。【きづく】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○学び方を学ばせることで、学習を子供に委ねられるようにする。特に個人解決の時間には、発達段階に応じて自分で解決方法を選択させるようにする。教師は一人一人の子供の学習状況を把握し、学びに生かす評価を行うことで、個別最適な学びを保障する。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめに関する授業を各学年年間5回実施し、年3回のいじめに関するアンケート及び教員研修を通して、教員には「学年担任」の意識をもたせ、いじめの未然防止に努める。またトラブルが発生した時には「小柳小いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対策委員会を中心に組織的に対応し、早期解決を図る。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校の未然防止・早期解決のため、心の健康観察を行ったり、月に2日休んだ子供について学年会で話題にしたりし、支援部に報告させる。家庭と連絡を密にしながら、SC や SSW 等と連絡をとりながら支援する。また、サポートルームやタブレット端末を有効に活用し、実態に応じた柔軟な支援を行う。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○LGBTQ対応を含めた男女平等教育をはじめとして、様々な人権課題に対応する人権教育を推進する。【たかめる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○特別支援教室の指導の充実を図るとともに、特別支援教育コーディネーターや巡回指導教員、スクールカウンセラー、巡回心理士等との連携を深め、支援部会を組織的に機能させ、特別支援教育の推進を図る。【たかめる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ府中2020レガシー」として「ふるさと学習」について各学年1単元以上を年間指導計画に位置付け、地域の人材や環境、公共施設などの教育資源を生かし、体験的な学習を推進することを通して、ふるさと府中を愛し誇りをもつ児童を育成する。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○わくわく自然教室と日光移動教室の学びの系統性をもたせ、生命の尊重、自然保護の心情、歴史への興味・関心、好ましい人間関係、規範意識、帰属意識等を育てる。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○外国の言葉や文化について体験的に理解を深め、ALTの活用を通してコミュニケーション能力の向上を図る。また、第5学年で TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)の参加、全学年で「世界とつながる 英語Enjoy Week」の取組を通して、外国語でのコミュニケーションの必要感を高める。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「防災ノート」や「東京マイ・タイムライン」を活用しながら、防災訓練や避難訓練を関係諸機関及び地域住民との協力により行う。特に、市防災の日については、中学校区内の各校との連携を密にし、地域全体で取り組めるようにする。避難訓練では、自らが緊急時取るべき行動を身に付けられるようにする。また、第3学年では、地域安全マップの作成及び交通安全教室を実施し、体験的に学ぶ場を設定する。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立小柳小学校(特別支援学級) 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○個別指導計画に基づき、デジタル教材などを活用して指導内容を充実させ、「小柳学習ルール」を通して、学習の基礎的・基本的な内容の習熟を図る。国語科や算数科においては、発達段階に応じた教材の工夫やグループ編成により、系統性、発展性を考えた指導の充実を図る。【つながる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○日常生活に結び付いた体験的な学習の充実を図るとともに、ICT等の情報機器を活用した学習を推進し、タブレット端末を活用しながら調べたり観察したりする活動、入力する活動などを充実させ、社会生活への適応力の向上を図っていく。【きづく】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○学ぶ楽しさ、分かる喜びを重視し、一人一人に合わせた指導と評価を充実させる。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○学級担任全員で丁寧に子供理解を図り、いじめの未然防止に努める。いじめに関する授業を年間5回実施し、年3回のいじめに関するアンケート及び教員研修を行う。トラブルが発生した時には、「小柳小いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対策委員会を中心に組織的に対応し、早期解決を図る。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校の未然防止・早期解決のために、心の健康観察を行い子供の状態を把握する。家庭への連絡を密にするとともに、子供が精神的な充実感を得られる「心の居場所」となるような学級作りを目指していく。また、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関連諸機関と連絡を図る。放課後登校を行う、タブレット端末を有効に活用するなどの支援を行い、早期解決を図る。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○生活単元学習の中で、性教育に関わる内容を取り上げ、「自分の体について知る」「心と体の変化について知る」「他者との適切な関わり方について学ぶ」等、発達段階に応じた指導をしていく。【きづく】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○個々の発達段階に応じた通常学級との交流及び共同学習を展開していく。また、交流をさらに進展させるためにも学年ごとに所属するクラスを定める等、より充実した実りのある交流を行う。【つながる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○校外学習等の活動を通し、公共のルールやマナーを守り、安全に気を付けて生活しようとする態度を身に付けさせるとともに、地域社会や地域の自然・文化に触れ、「ふるさと学習」を推進する。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○宿泊学習では発達段階に応じて目標を設定し、自然体験等を通して豊かな心情を育むとともに、家庭を離れる経験を生かして自立心を養う。【たかめる】</p> <p>③英語教育の充実 ○外国語活動は、各教科等を合わせた指導の中で外国語担当教諭と連携したり、「世界とつながる 英語Enjoy Week」の取り組みを行ったりすることを通して、日常生活で英語を活用できるようにする。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○セーフティ教室、交通安全教室などでの安全指導、防災ノートを活用した防災に関する指導を積極的に行う。家庭・地域との連携を通して、健康・安全を心掛け、自分の身を守る態度を育てる。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立南白糸台小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図り、タブレット端末を最大限活用しながら、問題解決学習や体験的な学習など多様な指導方法や内容を工夫する。また、言語活動の育成を図るなど、児童一人一人に応じた個別最適な学びと多様な個性を最大限に生かす協働的な学びの充実を図る。【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○自他の生命の尊重と豊かな心、たくましく生きる力を育成し、自己実現を図る態度を育成する。「府中市いじめ防止条例」や「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を図ると共に、スクールカウンセラーと連携した教育相談機能の充実を図る。【つながる】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○各教科等の学習内容を関連付けた「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組を通して、持続可能な社会の担い手としての「人権感覚と規範意識」「確かな学力」の育成を図り、持続可能な開発目標(SDGs)に関わる課題を見いだし、各教科等の見方・考え方を働かせ、児童に必要な資質・能力を育成する。【たかめる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○問題解決学習や体験的な学習など多様な指導方法や内容を工夫し、個別最適な学習を重視し、児童一人一人が課題の解決に向けて見通しをもち、学習内容や学習方法を決定して学習活動に取り組む学習を充実させる。【たかめる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校支援としてサポートルーム、タブレット端末や支援員の活用しながら、学校とSC、SSW等の関係機関と連携した一人一人に応じた支援の充実及び校内支援体制の構築を図り、「SOSの出し方に関する教育」を年間1回以上確実に実施するとともに、家庭、地域と連携した相談体制の確立と児童への周知を図る。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○「わくわく自然教室」「日光移動教室」等の集団活動を通して、学級や学校生活の中から集団や個人の課題を見いだし解決するための方法や内容を他者と話し合い、集団として「合意形成」を図り協力して実践したり、一人一人が自己の課題の解決方法について「意思決定」し実践したりして、よりよい生活や人間関係を築き、学校生活の充実と向上を図る。【たかめる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○問題・課題発見力を重視し、児童が主体的に目標や課題・問題に気付き、発見し、課題解決や自己実現に向けて見通しをもって、自主的・実践的に学ぶことができるようにする。タブレット端末を積極的に活用し、課題や目的に応じて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理し、表現・発信・共有する学習活動を充実させる。【きづく】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○男女平等教育や生命(いのち)の安全教育を推進し、児童の男女平等、性の多様性に関する理解を深め、他者を尊重する態度を育む教育活動を充実するとともに、学校における固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の確認・見直しを図る。【つながる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○「世界とつながる 英語 Enjoy Week」の中でTGGを活用したり、外国語大学の留学生との交流会を活用したりし、児童・生徒が英語でコミュニケーションを図る教育活動の充実を図る。また、ALTを活用して目的・場面等に応じて、積極的にコミュニケーションを図り、多様な文化を理解しようとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養う。【つながる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○「第4次府中市特別支援教育推進計画」に基づき、全ての児童が学ぶ喜びを味わい、生き生きと学ぶ学校を実現するため、授業や教室環境のユニバーサルデザインを推進する。特別支援教育コーディネーターを要として、特別支援教室「ひばり」と連携し、校内委員会を中心に組織的に特別支援教育を推進する。【きづく】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○府中市教育委員会「防災の日」の六中地区の引き取り訓練や様々な災害を想定した避難訓練を計画し、児童の防災意識を高める。登下校中や給食中など火災、地震、水害等多様な想定での避難訓練の実施やセーフティ教室の開催により安全指導の充実を図る。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立四谷小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、ユニバーサルデザインの視点での授業改善や、全国学力・学習状況調査に基づく授業改善推進プランの作成及び授業改善の推進を行い、質の高い授業づくりを目指す。授業のねらいを明確にし、表現する活動を位置付けた「分かる」授業を実施することで、深い理解の実現を目指し、指導と評価の一体化を推進し、児童の実態を基に指導方法を改善する。【たかめる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○「わくわく自然教室」や「日光移動教室」等の校外学習を通して自然体験の充実を図るとともに、多摩川や地域の人等と関わる活動を基に、「ふるさと府中」に誇りをもてる児童を育成する。【つながる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○問題解決的な学習を各教科の指導に位置付け、課題解決の見通しをもち、学習内容や学習方法を決定する学習を設定し、主体的に考える力の向上を図る。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめ等の児童の多様化する問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応に向け、いじめ対策委員や不登校対策委員会で組織的に生活指導体制を整え、学校だけでは解決することができない事案については、学校サポートチーム(SSW、SC、スクールサポーター、福祉関係部署職員、児童相談所職員等)を活用し、専門家による複合的な視点からの解決策の立案、役割分担を行う。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校の未然防止及び早期解決のため、幼保小、小中連携を密にすると共に、サポートルームを活用し、家庭・地域・関連機関と連携して、組織的な対応を行う。タブレット端末等を活用した「心の健康観察」を実施し、児童生徒のメンタルヘルスの悪化やSOSを早期に把握し、SCやSSW、養護教諭等とも把握した情報を共有しつつ、チームで支援を実施する体制構築を目指す。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力を養う。【たかめる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○「第4次府中市特別支援教育推進計画」に基づき、授業や教育環境に関するユニバーサルデザインについて取り組み、全ての子供にとって分かりやすく学びやすい教育を推進する。【つながる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組を各教科等と関連付けて実施し、児童一人一人が現代社会の課題を自らの問題として捉え、課題解決に向けて自分で考え実践していく資質能力を育成する。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○児童の主体性を生かした「わくわく自然教室」や「日光移動教室」等の学校行事の実施により、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、自立心や社会性を養う。【たかめる】</p> <p>③英語教育の充実 ○コミュニケーション能力の育成のために、ALT、TGGの活用や「世界とつながる 英語Enjoy Week」を行うことで、失敗を恐れず積極的に英語を用いてコミュニケーションしようとする態度を育成する。また、外国語科及び外国語活動では、音声面を中心とした外国語活動を用いたコミュニケーションを図る資質を育てる。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○府中第八中学校と連携し保護者等への確実な引き渡し体制・緊急連絡体制を整備するとともに「府中市教育委員会 防災の日」での中学校区での引き取り訓練や地域のような災害を想定した訓練を計画的に実施する。【つながる】</p>

令和6年度 府中市立南町小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○全国学力・学習状況調査の結果の分析を基に、学力の向上を図る。本校の課題として思考力、判断力、表現力等の充実が挙げられるので、本やインターネットから必要な知識や技能を読み取る力、及び説明文の要点を把握して書く力を育成する。そのために、読書活動を充実させる。【たかめる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○令和5、6年度体育健康教育推進校の取組を基に、自己の課題把握、課題解決の方法選択の流れを他教科でも活かし、児童が課題の解決に向けて活動したいと思える授業づくりをする。【きづく】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○児童が教科等で身に付けた知識・技能、思考力・判断力・表現力等を発揮して探究的な見方・考え方を働かせ学習する。学習した内容が、自己の生き方を考え、よりよく課題を解決し、地域や社会で実現する必然性が生まれることを踏まえ、防災活動を発表する等、学校外学習活動の計画を立てる。これらの学習を通して、「ふるさと府中」に誇りをもてる児童を育てる。【つながる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめは、許されない人権侵害と捉え、「南町小学校いじめ防止基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、早期対応に向け、校内委員会を開き組織的に対応する。人権標語づくりやいじめ防止の授業といじめに関する教員の研修をそれぞれ年3回実施する。【たかめる】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○生活指導研修会や生活指導夕会において情報の共有化を図る。学校サポートチーム、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーター、けやき教室と連携し不登校対応をとる。校内委員会を設定し定期的な委員会を開き、不登校傾向のある児童を重点的に見守り、保護者を支援するとともに、サポートルームを活用し、学校全体で組織的に対応を行う。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○「性教育の手引き」を基に、発達段階に応じて性に対する正しい知識の定着を図る。各教科等と結び付け、ガイダンスとカウンセリングの両面で、健康な生活を保てるようにする。【きづく】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○児童の実態や課題のアセスメントのために、定期的に巡回心理士やスクールカウンセラー等の専門家による観察や相談等を行い、個に応じた指導を通して、一人一人のよさを伸ばす。【たかめる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○SDGsの観点から「未来へつなぐ府中2020レガシー」における「ESDカレンダー」を見直し、実際の生活や体験に基づいた課題の解決のために協働的な学びができるようにカリキュラムを見直す。【つながる】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○わくわく自然教室や日光移動教室等では、自然体験や社会体験、体験先の中学生との交流活動等を充実させ、実感を伴って物事を理解したり、自分と向き合い、他者に共感することや社会の一員であることを自覚したりする。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○児童が授業で身に付けた英語の知識や技能を1学期のTGGでの英語体験活動で児童の状況を把握する。それをもとに小中連携の府中第三中学校や矢崎小学校と情報を共有し、2学期に実施の「世界とつながる 英語 Enjoy Week」の実践で生かす。【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○災害発生時の自助・共助の意識を高める防災教育を推進し、災害時等に自分の命を自分で守るための適切な行動ができる判断力を養う。5月に学校独自の水害に対応する避難訓練を実施し、8月に、「府中市教育委員会 防災の日」での中学校区での引き取り訓練を実施する。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立南町小学校(特別支援学級) 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○一人一人の能力や特性に応じて学習課題を設定し、ねらいに応じてグループを編成し、効果的な指導方法を工夫することによって基礎的・基本的な知識及び技能の確かな定着を図る。【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめは、許されない人権侵害と捉え、「南町小学校いじめ防止基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、早期対応に向け、校内委員会を開き組織的に対応する。人権標語づくりやいじめ防止の授業といじめに関する教員の研修をそれぞれ年3回実施する。【たかめる】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○府中の自然、文化、歴史などについて探究的な学習活動を行い、「ふるさち府中」に誇りをもてる児童の育成に努める。また、「郷土府中に根ざした道徳資料集」等の教材を計画的に指導計画に取り入れ、郷土を愛する心を育む学習を推進する。【つながる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○学び合うことや体験的な活動を学習過程の中に取り入れることで、共に学ぶ楽しさを味わわせるとともに、思考力、判断力、表現力などを育てる。【きづく】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○生活指導研修会や生活指導夕会において情報の共有化を図る。学校サポートチーム、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーターと連携し不登校対応をとる。校内委員会を設定し定期的な委員会を開き、不登校傾向のある児童を重点的に見守り、保護者を支援するとともに、サポートルームを活用し、学校全体で組織的に対応を行う。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○宿泊学習や日光移動教室では、体験を通して自然や社会などへの関心を深め、社会の中で生活する態度や公共心などを育てる。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○体験学習では、安全に気を付けて生活する態度や公共心を育成する指導を重視するとともに、自然や社会などへの関心を深め、見通しをもって意欲的に参加しようとする力を育てる。【つながる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○「性教育の手引き」を基に、発達段階に応じて性に対する正しい知識の定着を図る。各教科等と結び付け、ガイダンスとカウンセリングの両面で、健康な生活を保てるようにする。【きづく】</p>	<p>③英語教育の充実 ○ALTと連携し、挨拶や自己紹介、ゲームなどの身近なコミュニケーション場面を通して異文化に触れ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする素地を育てる。また、TGGや「世界とつながる英語 enjoy week」を活用し、外国語活動の充実を図る。【つながる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○個々の児童の実態に応じて、給食交流、たてわり班活動など、通常学級との交流及び共同学習を進めていく。また、同学年の交流クラスを決め、より充実した実りのある交流を行う。【つながる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○災害発生時の自助・共助の意識を高める防災教育を推進し、災害時等に自分の命を自分で守るための適切な行動ができる判断力を養う。5月に学校独自の水害に対応する避難訓練を実施し、8月に、「府中市教育委員会防災の日」での中学校区での引き取り訓練を実施する。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立日新小学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○各教科等の授業では計画的に「めあて」を示し、基本的な知識及び技能の習得、児童相互の対話的な学びによる思考力、判断力、表現力等の育成を図る。習熟度を確認する「まとめ」、自己の調整につながる「振り返り」を設け、学びに向かう力を育成する。授業改善、指導と評価の一体化、各児童の達成状況の把握に努める。【つながる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○言語活動を重視した課題解決の学習を積極的に取り入れ、対話を重視したペアやグループ編成等による深い学びを保障する。また、体験的で多様な学習や教育活動を通して、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力・人間性等をバランスよく身に付けさせる。【たかめる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○教科等横断的・総合的な視点により学習課題等の系統性を整理し、宿泊学習での学びや経験等も含めて組織全体で、児童が主体的に選択・判断する計画的な教育活動や学習を推進する。児童自ら学習の道筋を選択・判断できるよう見直しをもたせるようにする。【きづく】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめに関する授業を各学年で学期ごとに1回実施し、年3回のいじめに関するアンケート及び教員研修を通して、教員には「学年担任」の意識をもたせ、いじめの未然防止に努める。トラブルが発生した時には「日新小いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対策委員会を中心に組織的に対応し、保護者と連携しながら早期解決を図る。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○校内委員会による組織的対応の基、学級担任や特別支援コーディネーター及びスクールカウンセラー等との面談を計画的に行う。学校生活支援シート及び長期欠席児童個票を作成し、サポートルームや放課後の登校、けやき教室の利用、学校と家庭の支援員の活用など、当該児童のニーズに応じた対応を幅広く行う。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○要配慮児童について、6月までに学校生活支援シートを作成し、学校と家庭で協働して個に応じた教育ニーズに対応する。必要に応じて巡回相談を実施し、手だてを更新する。ジェンダーバイアスに留意しながら、「～さん」で呼称するなど男女平等教育を推進する。【きづく】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○特性のあるなしにかかわらず児童のニーズに合わせた指導・支援を組織的に行うために、複数の特別支援コーディネーターに担当をもたせて校内委員会を充実させる。支援レベル1～3に対する対応策を充実させる。また、学校生活支援シート及び個別指導計画の活用を通して、特別支援教室の拠点校との連携をより円滑にするとともに、保護者をつなぎ、協働する。【たかめる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ 府中2020レガシー」では、障害者理解(多様性の理解)に重点を置き、パラリンピアンとの継続的な直接交流を行う。また、地域教材を活かした、本校の伝統ある「餅つき・丸餅づくり」や「ふるさと府中と菊づくり」を題材とした日新アクティブ(総合的な学習の時間)などを行う。【つながる】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○府中市の水田地区である府中八中校区小学校3校と連携し、5年生「わくわく自然教室」では長野県飯山市で宿泊体験学習を行い、地域の農業及び稲作文化と比較検討して学びを深める。6年「日光移動教室」ではキーワード「江戸時代」とし、府中市とのつながりを探究する。【きづく】</p> <p>③英語教育の充実 ○特色ある教育活動として、1・2年生の「英語遊び」を2学期の「世界をつなぐ英語 Enjoy Week」を中心に実施する。また、土曜学校公開を同時開催して児童の発話相手として多くの保護者・地域の方々にも協力いただくとともに、本校の英語教育に対する保護者・地域への啓発を図る。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「東京・マイタイムライン」や「GIGA ワークブック」等を活用し、家庭・地域や関係諸機関と連携して、実際に則した危険予知や危険回避の能力を育み、自分の命を自分で守ろうとする指導を充実させ、安全教育・防災教育を推進する。また、家庭と連携して身近な大人等にSOSを出せる児童を育成する。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第一中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○適切な評価規準に基づく評価活動を行うために、各学習におけるねらいを明確にするとともにねらいを達成するための学習活動を効果的に展開し、適正な評価活動が行われるよう指導する。また、シラバスを活用することで学習の進め方や評価について、生徒が理解を深め、主体的に学習に取り組む意欲と態度の育成を図る。【つながる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○学習指導要領の趣旨を踏まえ、学習指導要領において示された資質・能力の育成を着実に図るため、タブレット端末を授業や家庭学習において、発展的な学習や補充的な学習に活用していただくことで個別最適な学びの充実を図る。協働的な学びでは、話し合いの学習に重点を置き、単元計画の中に効果的に位置付けながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。【たかめる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○学校のあらゆる活動を通して、生徒の主体的な取組を積極的に推進し、教員と生徒の共感的な信頼関係の下、自己存在感を涵養するとともに自己決定の場を数多く設定することで生徒の自己指導能力の育成を図る。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめに関する授業を各学年年間5回実施し、年3回のいじめに関するアンケート及び教員研修を通して、教員には「学年担任」の意識をもたせ、いじめの未然防止に努める。またトラブルが発生した時には「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対策委員会を中心に組織的に対応し、早期解決を図る。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校生徒の支援の充実を図るため、不登校対策委員会において情報の共有とともにアセスメントに基づいた有効な手だてを協議し実行化を図る。その際、個別のアセスメントシートの作成・活用を通じた有効な登校支援が行われるよう校内体制を整備する。また、サポートルームの活用マニュアルを更新し効率的な運用を図るとともに、サポートルームの活用成果を検証する。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○学校・家庭・地域の協働を図るため、地域コーディネーターを活用することで府中版コミュニティスクール協議会を充実させ、地域に開かれた学校づくりに取り組む。その際、青少年対策地区委員会、地元自治会、同窓会、近隣の高校や大学と積極的に関わることで、地域に根ざし、地域の一員として生きる生徒の育成を図る。【つながる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○障害のあるなしにかかわらず、生徒のニーズに合わせた支援を組織的に行うために校内委員会を充実させ、アセスメントに基づいた支援の在り方を充実させる。また、個別指導計画の活用を通して、特別支援教室の拠点校との連携をより円滑にしていく。【たかめる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ 府中 2020 レガシー」では、ボランティア・マインドの醸成としての地域清掃活動や落ち葉拾い集会、自然・環境としての多摩川や「ふるさと府中」を題材とした総合的な学習の時間などを行う。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○連携校の小学校との学力向上や生活指導面の円滑な接続を目指して小・中連携教育をさらに充実させるとともに地域コーディネーターを活用した府中版コミュニティ・スクールを活性化させるなど、地域と一体となった学校づくりを強力に推進する。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○英語科における学びを充実させるため、全学年において習熟の状況を踏まえたグループ編成の少人数指導を実施する。また、第1学年を対象としたTGGの活用を通じた取り組みや英語学習を強化する期間の設定など英語力の向上を図る。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○安心安全な学校づくりに向けて、毎朝担任は教室で、専科教員は廊下で、特別支援教室教員と支援員は昇降口で温かく児童を迎える。また教職員の目が届きづらい休み時間は、週当番の教員が校庭を、学年教員1名がフロアに残り、児童の様子を見守る体制を整え、些細なことから起こりうるトラブルやけが等の未然防止に努める。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第一中学校(特別支援学級) 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○一人一人の生徒の能力に応じた指導内容と指導方法を探究し、個に応じた教育の充実を図ると共に、一人一台の端末を積極的に活用したICT教育の活発化を図り、より誰もが分かりやすい授業に向けた工夫・改善を行う。 【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめは、許されない人権侵害ととらえ、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、早期対応に向け、校内委員会を開き組織的に対応する。人権標語づくりやいじめ防止の授業、教員のいじめに関する研修をそれぞれ年3回実施する。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「ふるさと府中」に誇りをもつ生徒の育成に向けて、「未来へつなぐ府中2020レガシー」テーマと各教科等の学習内容を関連付けた教育活動を充実させる。社会科や総合的な学習の時間を中核に、義務教育9年間を通して地域の教育資源や社会科副読本「郷土府中」を活用し、郷土の歴史や伝統文化、地域を愛する心を学ぶ、ふるさと学習を推進する。【たかめる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○少人数指導や課題別のグループ指導において創意工夫ある授業展開に努め、基礎的・基本的な内容の定着を図る。また、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指し、個々の障害特性に応じ自立に向けて必要な資質・能力の成長を図る。【たかめる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校対策として、生徒の心身の状況を把握し、生徒の「心の健康観察」を実施する。SCやSSW、子育て世代包括支援センター「みらい」など関係機関と連携し、日常的な連絡を励行しながら、全生徒がいずれかかつながっている状況を確認に作る。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○小中連携教育の推進を通して、9年間を見通した教育内容・指導方法の連携を図り、自己の個性や適正についての理解を図り主体的に進路を選択できる資質・能力を育てる。特に、中学生が小学校へ出向き中学校の生活について説明する機会を通して、特別支援学級における小中連携の充実と中一ギャップの軽減を図る。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○規範意識の育成、自他の生命を尊重する態度を養うとともに、生徒個々の自尊感情を高め、ありのままの自分で自らの歩で自ら律し切り開いていく自己管理能力と自己責任を果たせる生徒を育成する。【たかめる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○家庭との連携を通して、社会的自立を目指した基本的生活習慣並びに学習習慣の向上・自立を目指す。また、日課表や保護者会、教育相談等を通して、保護者との連携を密にする。必要に応じて教育センター、児童相談所、子ども家庭支援センター「たち」、医療機関、福祉関係機関等との連携を積極的に図り、家庭支援を推進する。 【つながる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○第1学年を対象としたTGGの活用を通じた取り組みや英語学習を強化する期間の設定など英語力の向上を図る。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○個々の発達段階に応じた通常学級との交流及び共同学習を展開していく。また、交流をさらに進展させるためにも学年ごとに所属するクラスを定める等、より充実した実りのある交流を行う。【つながる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○避難訓練では、自らが緊急時にとるべき行動を身に付けられるようにする。また「防災ノート」や「東京マイ・タイムライン」を活用する。特に、市防災の日については、中学校区内の各校との連携を密にし、地域全体で取り組めるようにする。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第二中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○ユニバーサルデザインの視点に基づいた教室環境・授業改善に取り組み、主体的・対話的で深い学びを実現する。指導内容・方法の工夫をし、学習意欲や体力向上の意欲を喚起して、生徒が課題解決に見通しをもてるよう「分かる」から「できる」授業を構築する。【つながる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○第1学年は「自分を知り、他者に目を向ける」、第2学年は「他者を知り、社会に目を向ける」、第3学年は「社会を知り、自身の進路を切り拓く」をテーマとし、各教科等で身に付けた知識や技能を活用する探究的な学習の充実を図る。【きづく】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○各学年での体験活動の中で、「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」という探究のプロセスの繰り返しを通して、自己の生き方を考える力を育成する。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○学校いじめ防止基本方針に基づき、未然防止、早期発見・早期対応を目指し、「心の健康観察」の活用や学期ごとに全校アンケートといじめに関する道徳科の授業や教員研修を実施し、いじめ対策委員会の活用やスクールカウンセラーとの連携を図りながら、組織的な取組の充実に努める。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校の未然防止及び早期解決のために、不登校対応教員を中心として不登校対策に組織的に取り組み、解決を図る。関係諸機関との連携、サポートルームの積極的な活用・充実、関係小学校との引継ぎ等を確実に行っていく。また、タブレット端末や支援員を活用し、きめ細かな不登校支援を行う。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○性被害・性暴力の背景にある性差別意識の解消及び男女の尊重や自分を大事にすることの理解を図るため、「生命(いのち)の安全教育」を実施する。【たかめる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○特別支援教育コーディネーター主導のもと、通常学級と特別支援学級との連携、特別支援学校との学校間交流や副籍交流事業を推進し、生徒も教員も障がい者に対する理解を深めることで、インクルージョンの実現を担う人間を育成する。【つながる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「ふるさと府中」に誇りをもつ生徒の育成に向けて、「未来へつなぐ府中2020レガシー」と各教科等の学習内容を関連付けた教育活動を充実させる。社会科や総合的な学習の時間を中核に、9年間を通して地域の教育資源や社会科副読本「郷土府中」を活用し、ふるさと学習を推進する。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○義務教育9年間を見通した系統性、連続性、計画性のある旅行・集団宿泊的行事(「ふれあい自然教室」、「修学旅行」)を行い生徒の社会性等を育む。【たかめる】</p> <p>③英語教育の充実 ○外国語教育では、TOKYO GLOBAL GATEWAYの活用や「世界とつながる 英語 Enjoy Week」の取組、東京外国語大学や近隣小学校との交流を通して、コミュニケーション能力の育成を図る。【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「防災ノート～災害と安全～」 「府中市防災ハンドブック」 「東京マイ・タイムライン」などを活用して避難訓練、引き渡し訓練をするとともに、中学校区の小学校や地域との連携を通して、自助・共助・公助の意識を高める活動を充実させる。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第二中学校(特別支援学級) 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○タブレット端末を活用した授業を通して、より豊かなコミュニケーション能力を育てるとともに、課題や目的に応じたICTの活用を図れるようにする。【つながる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○学校いじめ防止基本方針に基づき、未然防止、早期発見・早期対応を目指し学期ごとに全校アンケートといじめに関する道徳授業を実施し、いじめ対策委員会の活用やスクールカウンセラーとの連携を図りながら、組織的な取組の充実に努める。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「ふるさと府中」に誇りをもつ生徒の育成に向けて、「未来へつなぐ府中2020レガシー」テーマと各教科等の学習内容を関連付けた教育活動を充実させる。社会科や総合的な学習の時間を中核に、義務教育9年間を通して地域の教育資源や社会科副読本「郷土府中」を活用し、郷土の歴史や伝統文化、地域を愛する心を学ぶ、ふるさと学習を推進する。【たかめる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○和太鼓の体験を通して、日本の伝統や文化についての理解を深めるとともに、自ら課題を立て、情報を収集し、整理・分析し、まとめ・表現する活動を設定し、探究のプロセスを発展的に繰り返していく。【たかめる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○生徒の特性や発達段階に応じ、人との距離感や話し方など好ましい人間関係の育成を目指す。また、家庭連絡を密にとり、サポートルームも活用しながら不登校の未然防止・早期対応を図る。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○系統性、連続性のある旅行・集団宿泊的行事(「ふれあい自然教室」、「修学旅行」、「宿泊校外学習」)を行い生徒の社会性等を育む。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○ICTやデジタル教材を効果的に活用し、「個別最適な学び」を通して、問題を発見・解決したり、自分の考えを形成したりするために必要な資質・能力を育成する。【きづく】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○性被害・性暴力の背景にある性差別意識の解消及び男女の尊重や自分を大事にすることの理解を図るため、「生命(いのち)の安全教育」を実施する。【つながる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○外国語科の時間において、補助教材「Welcome to Tokyo(Basic)」を用いて、外国人とのコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。また、実践的なコミュニケーションの力をつけるため、ALTとの授業を毎月実施する。【きづく】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○指導内容により、グループ別学習等の学習形態やチーム・ティーチング、TEACCHプログラム、応用行動分析、ユニバーサルデザイン化等の指導方法を工夫する。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○毎月行う避難訓練と、地域と連携して行う地域交流会等を通して自助・共助・公助の意識を高める。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第三中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○すべての教科で「主体的に学び、自ら考え、個を確立する」という力を身に付けさせるため、タブレット端末をより効果的に活用しながら、発見し、対話し、決定し、表現することを通して、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。【たかめる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○学校行事や各教科等、総合的な学習の時間等における指導内容との関連を図りながら、年間指導計画を策定・調整して、学習効果の最大化を図る。【たかめる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○「学習の手引き」を年度初めに提示し、定期的に再提示を行い、学習の進め方や指導の重点、学習の仕方、見通しをもって学習に取り組む意欲と態度の向上を促す。1年間を通してノーチャイムデーを実施する。【きづく】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめは、許されない人権侵害ととらえ、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、未然防止、早期発見、早期対応に向け、校内委員会を開き組織的に対応する。人権標語づくりやいじめ防止の授業、教員のいじめに関する研修をそれぞれ年3回実施する。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○学校全体で組織的かつ具体的な対応を行うため「不登校対策委員会」を設置して定期的な会合を開き、当該生徒やその保護者を支援する校内体制を整える。さらにサポートルームの支援体制の充実を図る。【きづく】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○人権教育や性教育等との関連を図りながら、男女平等について考える機会を設け、固定的な性別役割分担等の無意識の思い込みについて、見直しを促す。【きづく】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○ユニバーサルデザインの視点に基づいて教育活動を実践する。すべての学年で年3回、ソーシャルスキルトレーニングに関する授業を行い、基礎的なコミュニケーション能力の向上を図る。【きづく】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「ふるさと府中」に誇りをもつ生徒の育成に向けて、「未来へつなぐ府中2020レガシー」テーマと関連を図りながら、郷土のよさを理解し、その継承者となるふるさと学習やSDGsへの理解を深める学習に取り組ませ、自ら進んで持続可能な社会づくりに貢献する人材を育てる。【たかめる】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○第一学年における「ふれあい自然教室」と第三学年における「修学旅行」についてそれぞれねらいを明確にして各教科等の学習内容と関連付けながら実施する。【たかめる】</p> <p>③英語教育の充実 ○英語科において第一学年における「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を活用した英語体験や、全校生徒を対象とした「世界とつながる英語」の取組を通して失敗を恐れず積極的に英語を用いてコミュニケーションをとろうとする態度を育てる。【たかめる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○避難訓練では、自らが緊急時にとるべき行動を身に付けることができるようにする。また「防災ノート」や「東京マイ・タイムライン」を活用する。特に、市防災の日については、中学校区内の各校との連携を密にし、地域全体で取り組めるようにする。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第四中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○生徒が主体的に学習する個別最適な学びのために、タブレット端末などのICT機器の活用を通じた、話し合いや学び合いなどの協働的な学びの場を活性化させ、「主体的・対話的で深い学び」な授業を展開し、自分の考えを表現し、他の意見を基に再考し、深い学びにつなげる学習活動を計画的に設定していく。【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめ防止に向けて、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対策委員会を活用し組織的な取組を推進する。具体的に、年3回の教員研修や、年3回のふれあい月間におけるいじめアンケートの実施及び年3回のいじめに関する授業に実施、教育相談体制の確立、人権教育・道徳教育の充実を通して対応していく。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来につなぐ府中2020レガシー」では、各教科等において、持続可能な社会の構築を目指した「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を取り入れ、次世代を担う生徒の力の育成を行う。各教科等の展開において、人類が抱える課題の認識と、話し合い活動を通じた課題解決に向けてのコミュニケーション力、思考力の育成を図っていく。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○総合的な学習の時間では、第1学年「地域に生きる」、第2学年「日本に生きる」、第3学年「世界で生きる」をテーマに、各教科等において身に付けた教科の見方・考え方を活用、探究できるよう「横断的・総合的」な年間指導計画を作成するとともに、体験的な学習に重点を置く。【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○未然防止、初期段階、長期化したケースのそれぞれにおいて、予防、対応のマニュアル化を推進し、共通理解の基、適切な対応が行えるようにする。また、「サポートルーム」の拡充を通して、受け入れ体制を充実させ、社会的自立や集団への適応を図る【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○学級活動を充実させるとともにふれあい自然教室や修学旅行を通して、集団決定の場を設定したり学級内での役割を生徒に自覚させたりすることで望ましい集団を形成する。【たかめる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○生徒の主体的な学習活動を計画的に実施する。また、数学科・外国語科における少人数習熟度別・少人数指導をはじめ、各教科等における一人一人の習熟や興味・関心に応じた学びをさらに推進する。【たかめる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○多様性を認め合い、互いに協働・支え合うことを通じて、共生社会の実現に向けた教育活動を推進する。特別支援教育、外国にルーツのある生徒への指導をはじめ、生徒の状況や困り感を踏まえたきめ細やかな指導を行う。【つながる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○府中市教育委員会研究推進校における研究の成果と課題を踏まえさらなる授業改善を図る。「世界とつながる英語Enjoy Week」を設定し、「TOKYO GLOBAL GATEWAY」による活動やALTを活用し、背景にある文化の多様性を尊重し、英語を用いて情報や自分の考えを表現する力を育成する。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○特別支援教室巡回指導教員と在籍学級担任との連携を強化することで、特別支援教室の取組の充実をめざし、通常の学級における特別に支援を必要とする全ての生徒に対する学校生活支援シートや個別指導計画による支援の在り方を教職員間で共有し、効果的な支援ができる校内体制を確立する。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○安全教育全体計画及び指導計画に基づき、「防災ノート～災害と安全～」などを計画的に活用し、自助・共助・公助の意識を高めていく。また、避難訓練や合同防災訓練、「府中市教育委員会 防災の日」での引き渡し訓練などの体験的な学習を通して、防災意識を高め、自ら危機意識をもち主体的に行動し、地域と協働していく力を育成する。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第四中学校(特別支援学級) 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○これまでの授業実践とタブレット端末の活用を最適に組み合わせることで、生徒の個別最適な学びの充実を図るとともに、より「主体的・対話的な深い学び」の視点から授業改善を実践する。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめ防止に向けて、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対策委員会を活用し組織的な取組を推進する。具体的に、年3回の教員研修や、年3回のふれあい月間におけるいじめアンケートの実施及び年3回のいじめに関する授業に実施、教育相談体制の確立、人権教育・道徳教育の充実を通して対応していく。【きづく】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○一人一人の障害の実態や身体状況に応じて個別的な指導体制を組み、知・徳・体をバランス良く育む教育活動を展開する。また、「未来へつなぐ府中2020レガシー」では、障害理解を高めるとともに、通常の学級との交流を図っていく。【たかめる】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○地域の歴史や文化等に関心をもたせるとともに、地域や学校の課題を解決する学習に取り組む等、ふるさと府中に誇りをもてる教育活動の実施に努める。【たかめる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校生徒への対策について、未然防止、初期段階、長期化したケースのそれぞれにおいて、予防、対応のマニュアル化を推進し、共通理解の基、適切な対応が行えるようにする。不登校対策・教育相談委員会を定期的開催し、不登校生徒に対する支援の対策を立てる。【きづく】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○宿泊学習や校外行事においては、学習課題を設定し事前学習を行う。その際には、これまでの経験をもとに、課題を明確化した上で、生徒同士での話し合いを実施する。話し合い活動の活発化を通して、相互に向上し合う関係をつくり、責任感や連帯感等を養っていく。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○一人一人の障害や発達段階を把握した上で、教育的ニーズを把握し、個別最適な学びと、協働的な学びの場の活性化を目指す。また、課題別学習の形態と教材・教具を工夫して基礎・基本の定着を図る等、個に応じたきめ細やかな指導の充実を目指し、自ら積極的に学習する意欲を育てる【たかめる】。</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○多様性を認め合い、互いに協働・支え合うことを通じて、共生社会の実現に向けた教育活動を推進する。特別支援教育、外国にルーツのある生徒への指導をはじめ、生徒の状況や困り感を踏まえたきめ細やかな指導を行う。【つながる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○ALTと連携やTGGを活用した英語体験活動を通して英語でコミュニケーション活動を図る教育活動を充実させる。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○個々の発達段階に応じた通常の学級との交流及び共同学習を展開していく。また、交流をさらに進展させるためにも学年ごとに所属するクラスを定める等、より充実した実りのある交流を行う。【つながる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○安全教育全体計画及び指導計画に基づき、「防災ノート」等を活用しながら、自助・共助・公助の意識を高める。また、避難訓練や合同防災訓練、「防災の日」での引き渡し訓練などの体験的な学習を通して、防災意識を高め、自ら危機意識をもち主体的に行動し、地域と協働していく力を育成する。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第五中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○1単位時間内に話し合いや教え合いの場面を設けるなど「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して、生徒が主体的に取り組み、学習内容を深く理解する力を身に付けさせる。また、「協働的な学び」を充実させ、自分の意見を分かりやすく伝える力、相手の意見を丁寧に聞く力を育成する。【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○「学校いじめ防止基本方針」に基づき、年3回の校内研修等を実施し、いじめ対策委員会を中心とした組織を構築する。年3回のいじめに関する授業及びいじめを把握するためのアンケートの実施、人権教育、SOSの出し方に関する教育等を通して、未然防止と早期発見・解決を図るとともに、いじめを絶対に許さない、自分の命も他者の命も大切にする学校づくりを推進する。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○市制施行70周年を迎えるにあたり、「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組と関連させ「ふるさと府中」に誇りをもてる生徒の育成を図る。また、まちづくり、歴史・文化、自然・環境、ボランティアマインド、障害者理解、豊かな国際感覚についての学習に取り組みさせながら、府中市の未来について考える学習活動を推進する。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○各教科における体験的、課題解決的な学習など「協働的な学び」を充実させ、自分の意見をわかりやすく伝える力、相手の意見を丁寧に聞く力を育成する。また、カリキュラム・マネジメントの視点で地域や近隣高等学校、大学、専門学校等との連携を一層充実させる。【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校の未然防止及び早期支援に向けて、タブレット端末を活用した「心の健康観察」で日々の生徒の心身の状態を把握し、家庭・小学校・地域・関係機関との情報共有に基づき、系統的・継続的な情報・行動連携を図る。また、相談機能充実、サポートルームの運営等、子に合ったきめ細やかで組織的な支援体制を図る。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○第1学年で実施する宿泊学習(ふれあい自然教室)及び第3学年で実施する修学旅行(奈良・京都方面)においては、平素と異なる生活環境にあつて見聞を広め、自然や文化に親しむとともに、より良い人間関係を築くことや公衆道徳についての体験を積む機会とする。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○行事や委員会活動など、生徒が主体となって取り組むための仕掛けや支援を図り、自己肯定感や自己有用感を育む活動を充実させる。その中で、前に踏み出す力、意見の違いや立場の違いを理解する力、折り合いをつけながら前に進む力を育む。【きづく】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○多様な他者と協働する様々な集団活動の機会を計画的・継続的に設けることを通して、集団の形成者としての見方・考え方を働かせながら合意形成を図り、互いの良さを発揮することを通して集団や自己の課題を解決することができる資質・能力を育成する。【たかめる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○小中の円滑な接続の重視を踏まえ、「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を活用した英語体験活動や、ALT等を活用した「世界とつながる 英語 Enjoy Week」により、コミュニケーションを図る機会を充実させ、聞く、読む、話す、書くことに関する実践的な活用能力を育成する。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○「第4次府中市特別支援教育推進計画」及び「府中市特別支援教室ガイドライン」に基づき、障害の有無に関わらず生徒が共に学び、互いに理解を深めることができる共生社会の実現に向けた基盤づくりに努める。全ての子どもたちが学ぶ喜びを味わうことができ、将来につながる学びができる学校を目指す。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「府中市教育委員会 防災の日」における引き渡し訓練や、主体的に自己の安全を守る力を育てる避難訓練、災害時に情報を正しく判断し、安全に役立つ行動に結びつけられる力の育成を図る。また、「自己存在感の感受」「共感的な人間関係」「自己決定の場を提供する」「安全・安心な風土の醸成」を、教育活動全体において実践し、生徒の自己指導能力の育成を図る。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第六中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○授業のねらいや指導目標を明示し、その目標を達成するために言語活動を意図的に設定し、探究的な活動を充実する。ICTやタブレット端末を活用し、必要な情報を主体的に収集して処理、発信ができる力を育てる。また、評価計画に基づいた評価の研究を深め、指導と評価の一体化を図り、適正な評価をおこなう。【つながる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめや不登校等の早期発見と早期解決を徹底する。全教職員で「学校いじめ防止基本方針」に基づき、年2回のいじめに関する教員研修を実施する。また、「いじめ防止プログラム」等を活用し、指導力の向上を図るとともに関係諸機関と連携し、組織的かつ迅速な対応を行う。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○持続可能な社会の担い手を育むため、あらゆる教育活動の中で「未来へつなぐ府中2020レガシー」教育を行う。国際的な視野をもち、平和に向けて活躍する人材を育てる。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○各教科と総合的な学習の時間との横断的な関連を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する。自ら課題を見つけ、情報を収集、整理・分析し、思考・判断・表現する活動へと高める探究のプロセスを実現する。SDGs等に関連する課題に取り組み、生涯学習の基礎をつくるとともに持続可能な社会の構築を目指し課題解決ができる力を育てる。【たかめる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校生徒の状況を定期的に全教職員で共有する。スクールカウンセラーや関係機関との連携を積極的に推進し、「サポートルーム」を活用しながら生徒や家庭との連絡を密に図りながら個に応じた支援の充実を行う。併せて、週に1回程度、学年の教員とオンラインを活用した面談を行い学校とのつながりを意識させる。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○校外学習などの集団活動や、1年「ふれあい自然教室」、3年「修学旅行」を通じ、他者に共感することや社会の一員であることを自覚させ、協力と責任の態度を養う。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○生徒一人一人が自ら課題を見付け、探究的な見方・考え方を働かせ、その解決を図る力を育てるために、学校図書館、社会教育施設等の活用を行う。これらの行為を通じ、他者との関わりを学ぶとともに、学習の成果を、タブレット端末を活用して発表する活動を行い、プレゼンテーション技能を高め、主体的に自己表現できる力を育成する。【たかめる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○対象生徒が抱えている困難さを改善することによって、有意義な学校生活や日常生活を送ることができるように支援を行う。指導方法の工夫や教材・教具の充実を図り、巡回指導教員や特別支援専門員との連携を円滑に進める。【きづく】</p>	<p>③英語教育の充実 ○TGG体験活動や、「世界とつながる 英語 Enjoy Week」において特別活動や委員会活動で英語を活用する取り組みを通して、生きた英語を用いたコミュニケーションの機会の充実を図る。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○対象生徒が抱えている困難さを改善することによって、有意義な学校生活や日常生活を送ることができるように支援を行う。指導方法の工夫や教材・教具の充実を図り、巡回指導教員や特別支援専門員との連携を円滑に進める。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○各教科等の指導で健康教育や安全教育、防災教育を推進し、安全で安心できる学校生活を実現する。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第七中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実	全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実	義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実
<p>①基礎・基本の知識・技能の定着</p> <p>○毎時間、授業開始5分間は、復習などの時間に充てるとともに、「eライブラリアドバンス」等のデジタルコンテンツを積極的に活用し、学年を越えて立ち戻る指導を行う等、繰り返し学習を充実させる。また、家庭学習を充実させるため、「学習マラソン」を実施する。【たかめる】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底</p> <p>○いじめに関する授業を道徳で実施し、年3回のいじめに関するアンケート及び教員研修を通して、教員には「学年担任」の意識をもたせ、いじめの未然防止に努める。また、トラブルが発生した時には「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対策委員会を中心に組織的に対応し、早期解決を図る。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実</p> <p>○市制施行70周年を契機に、地域に残る自然や歴史的文化遺産等と、「ふれあい自然教室」や修学旅行先の自然・文化と関連づけた体験的学習に取り組み、「ふるさと府中」の自然や歴史の魅力に改めて気づくとともに、府中のよりよい未来について考える力を育てる。【たかめる】</p>
<p>②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p> <p>○各教科等の授業では計画的に「ねらい」を示し、生きて働く知識及び技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等の育成を図る。定着状況を確認する「まとめ」、自己の調整に生かす「振り返り」の時間を設け、授業改善、指導と評価の一体化、生徒一人一人の達成状況の把握に努める。【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実</p> <p>○日常の観察やタブレット端末を活用した「心の健康観察」等により、生徒の心身の状態を把握し、迅速に対応することで、不登校の未然防止を図る。また、校内において組織的かつきめ細かい支援体制を構築し、サポートルームを有効に活用するとともに、保護者、関係機関と連携して、生徒に寄り添った指導を行う。【きづく】</p>	<p>②小・中連携の充実</p> <p>○府中第七小学校及び武蔵台小学校と連携し、校区における目指す子供像、発達の段階に応じて学習に取り組む心構えや態度について共通して指導するなど、義務教育9年間の系統性と連続性のある指導の充実を図る。また、挨拶運動や地域活動への参加など、小中連携の取組を充実させる。</p> <p style="text-align: right;">【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実</p> <p>○学校行事を工夫し、ふれあい自然教室、修学旅行の実施を通して自主性を育て、集団への所属感を高める。また、生徒会活動を通して、リーダーの育成に努めるとともに、自主・自律の精神を養い、集団や社会における規律を理解し、望ましい社会の形成者としての自覚と責任をもたせる。【たかめる】</p>	<p>③道徳教育の充実</p> <p>○発達段階を考慮して計画的に指導を行うとともに、道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の問題と捉え、向かい合う「考える道徳」「議論する道徳」の授業を推進する。また、全ての学級で「郷土府中に根ざした道徳資料集」を活用した道徳の授業を実施し、「ふるさと府中」を愛する心を高め、府中に愛着や誇りを持ち、主体的に関わっていく態度を育てる。【たかめる】</p>	<p>③特別活動の充実</p> <p>○学級活動や生徒会活動等において、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育成し、自己を生かす能力や集団への所属感・連帯感を育む。また、ボランティア活動や地域行事への参加を通じて、地域社会の構成員としての自覚をもたせるとともに、地域から生徒が認め励まされ成長できるように支援する。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実</p> <p>○教育のユニバーサルデザイン化を推進し、特別支援教育コーディネーターを中心に、全ての生徒にとって学びやすい教育環境の整備に努める。また、都立武蔵台学園との交流を進め、障害の有無にかかわらず、同じ社会に生きる人間として、互いに正しく理解し認め合い、支え合って生きる共生社会の実現のために必要な人権感覚や態度を養う。【きづく】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実</p> <p>○地域と防災訓練を行い、自助・共助・公助の意識を育むとともに、「府中市教育委員会 防災の日」に小学校と連携した引き渡し訓練を実施する。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第八中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p>
<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○生徒一人一人が学習課題をもち、その解決に向けて見通しをもち解決できる学習指導や支援を重点的に行う。(個別最適化)また、言語能力の向上を図る指導や支援を重点的に行うとともに、身に付けた言語能力を発揮するコミュニケーションの場面を意図的に設置することで、多様な価値観を認め、考えを相互に伝え合い、合意形成を図ったり問題解決を図ったりできるようにする。【きづく】</p>	<p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○早期発見と早期解決について、「府中八中いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめ防止プログラム」等を活用し、関係機関等と連携し、組織的かつ迅速な対応を行う。また、いじめに関する授業やアンケートを年間3回実施することにより、いじめを生まない、許さない学校づくりの取組を推進し早期発見・早期支援につなげるデジタル機器を活用した「心の健康観察」を行う。【きづく】</p>	<p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○共生・共助社会と持続可能な社会の実現に向けた「未来へつなぐ府中2020レガシー」のテーマと各教科等で学んだ府中市のよさや課題等を関連付け、府中市の未来について考える教育活動を推進するとともに、市政施行70周年を機に、「ふるさと府中」に誇りをもてる生徒の育成に向けた取組を推進する。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○ICTやデジタル教材を効果的に活用した「個別最適な学び」を通して課題を発見・解決したり自分の考えを形成したりするために必要な資質・能力を育成する。【たかめる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校については、未然防止と早期解決のための、家庭・地域・関係機関との連携を強化し、個に応じた対応を基本に行う。また、スクールカウンセラーや関係機関との連携と「サポートルーム」の活用を重点に、生徒や家庭との連絡を密に図りながら実施する。面談や個別指導については、デジタル機器を効果的に活用する。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○小学校との接続と教科等の学習との関連を重視した取組を重点的に行う。特に、望ましい人間関係の構築と社会参画意識の醸成を行う。【つながる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○学校行事については、集団や社会の形成者としての自覚をもって多様な他者を尊重しながら協働する中で公共の精神を養い、社会の一員として、よりよい生活をつくらうとする態度を重点的に育成する。【つながる】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○教育のユニバーサルデザイン化の推進により、全ての生徒にとって学びやすい教育を実現するとともに、性差別意識の解消及び男女の尊重や自分を大事にすることの理解を図るための教育活動を推進する。【たかめる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○TOKYO GLOBAL GATEWAY を活用した英語体験活動や「世界とつながる英語 Enjoy Week 」の取組を外国語(英語)科の授業での学びと関連付け、英語を使用する楽しさや必要性を体感し、言語として使える英語力の向上を図る指導や支援を重点的に行う。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○障害のあるなしにかかわらず生徒のニーズに合わせた支援を組織的に行うために校内委員会を充実させ、アセスメントに基づいた支援の在り方を充実させる。また、個別指導計画の活用を通して、特別支援教室の拠点校との連携をより円滑にしていく。【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○「府中市教育委員会 防災の日」の取組を通して、生徒の安全行動力の向上を重点に、家庭・地域と連携した引き渡し訓練や様々な災害について、想定外の危機に対応できる能力の向上を目指した訓練を実施する。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立府中第九中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○「学習習慣の定着」「言語活動の充実」「読書の習慣化」等を通して、思考・判断・表現し、学習内容を深く理解する力をつけさせるとともに、一人一人の個性を生かしながら言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育む。【つながる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○道徳科を中心に道徳教育を充実させ自己の生き方、在り方の学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるとともに、心豊かな生徒育成のため他者を尊重する態度を育て、暴力やいじめを許さない人権尊重の教育を推進する 【きづく】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ府中2020レガシー」について、すべての教育活動を通じて指導するよう体系付けて取り組み、改善する。また、本校の教育活動の具現化のために、道徳科と教科等との関連、各教科と総合的な学習の時間との関連を明確にする。ESDの視点を取り入れ未知の状況にも対応できる力を培うため、教科等横断型学習をカリキュラム・マネジメントして生徒の思考力、判断力、表現力等を育成する。【きづく】</p>
<p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○地域の教育環境と教育力を生かし、勤労体験やボランティア活動・地域行事への参加を推進し、郷土愛や地域社会の一員としての態度を育む。【つながる】</p>	<p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○個に応じた指導を行うために、教育相談機能を充実させ、関係諸機関との密接な連携を図り、不登校、特別支援教育、心身の健康などの健全育成上の課題に対しきめ細やかな対応を図る。また、特別支援委員会を活用し、生徒の学習環境作りと個への配慮を図り、特別支援教育の推進を図る。【つながる】</p>	<p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○小・中学校9年間を通した系統性と継続性を重視し、学校・家庭・地域が連携しながら生徒の規範意識と社会に貢献する態度を養うとともに、わかる喜びと学ぶ楽しさを感じて学習意欲を高め、生涯にわたって主体的に学び続け、社会を生き抜く力を養う。【たかめる】</p>
<p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○道徳科を中心に道徳教育を充実させ自己の生き方、在り方の学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。【きづく】</p>	<p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○男女の性の違いについて、性教育の充実を図り互いに人間として尊重できる関係を育む。【たかめる】</p>	<p>③英語教育の充実 ○習熟度別少人数指導などの指導方法の工夫、改善を進め、英語教育の充実を図る。【たかめる】</p>
	<p>④特別支援教育の充実 ○心豊かな生徒育成のため他者を尊重する態度を育て、暴力やいじめを許さない人権尊重の教育を推進する。 【たかめる】</p>	<p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○安全教育プログラムを活用し、防災教育への意識を高める。「東京マイ・タイムライン」、「防災ノート～災害と安全～」等を活用し防災に対する心構え、身構えを身に付けさせる。地域の特性から浸水被害での対応方法について避難訓練等を通して備えておく。【きづく】</p>

令和6年度 府中市立府中第十中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○各教科等の授業では国語科を全教科の要とし、各教科等における発達段階に応じた授業改善を行う。少人数のグループによる学習では、他者の意見を参考に自己の考えを深化させ、その意見を発表することで、互いを認め合うことを学ばせる。【きづく】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○「日本やふるさと府中のよさと伝統文化の継承」「生命尊重と安全なまちづくりや共生社会の実現」「自分の将来や職業に対する夢や目標とキャリアプラン」をテーマに探究活動を充実させる。地域防災や職場体験学習では、地域への愛着や社会の一員として求められる資質や能力を養う。【つながる】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○各教科等で適宜グループ学習を行うことで他者の意見から得た自己の考えを深めさせ、主体的に判断し行動できる生徒を育成する。また、道徳授業の充実を図り、判断力や実践力を養う。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○いじめに関する授業を各学年年間3回実施し、年3回のいじめに関するアンケート及び教員研修をとおして、いじめの未然防止に努める。また、トラブルが発生した時には「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対策委員会を中心に組織的に対応し、早期解決を図る。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○サポートルーム等を活用した個に応じた柔軟な校内支援体制を構築する。そのために特別支援委員会と不登校委員会のメンバーを重複させ、双方の情報を校内で共有する。SC・SSW・市内諸機関と連携し、適宜支援方法を検討する。【つながる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○郷土府中に根ざした道徳資料集などの教材を活用し、男女平等や個人の尊重に関する認識を高める。【つながる】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○障害のあるなしにかかわらず生徒のニーズに合わせた支援を組織的に行うために校内委員会を充実させ、アセスメントに基づいた支援の在り方を充実させる。また、個別指導計画の活用を通して、特別支援教室の拠点校との連携をより円滑にしていく。【たかめる】</p>	<p>義務教育9年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○「未来へつなぐ 府中 2020 レガシー」では、保健体育科の武道の授業をから日本の伝統的な考え方を理解し、技能や礼儀作法をとおして、日本人としての自覚と誇りを意識させる。また、地域学習では府中市の歴史を調べ、史跡や文化財の興味関心を深めさせる。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○1学期のGW明けに「ふれあい自然教室」を実施することで、出身小学校の枠を超えた集団としてのまとまりや中学生としての自覚を身に付けさせる。また、小・中連携では、小学校で身に付けた学習内容を踏まえ、中学生として深化する内容を追及し、指導に生かす。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○英語科ではオールイングリッシュ授業を実施する。得意な生徒と苦手な生徒が互いを理解し、高め合う授業を実践する。「世界とつながる英語 Enjoy Week」では、「ALT に府中の魅力を伝える」学習と TGG での英語体験学習をとおして教育活動を充実させる。【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○安心安全な学校づくりに向けて、正門での挨拶運動や副担任の欠席確認と担任の健康観察をとおして安全確認を行う。また、月1回の避難訓練と安全教育では、有事の際に自主的に判断して避難する姿勢を育成する。消防団と協力して防災訓練を行う。【たかめる】</p>

令和6年度 府中市立浅間中学校 教育課程(概要版)

1	2	3
<p>児童・生徒一人一人の個性や能力を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○3年間の授業改善推進拠点校の研究の成果に基づき、生徒にルーブリックを明示し、学習目標に対する現在の達成度を認識させるとともに、学習目標達成に向けて粘り強く学習に取り組み、自己調整ができるような学習活動を展開する。【たかめる】</p> <p>②体験的、課題解決的な学習の充実 ○課題解決型の学習や協働的な探究学習を通して、生徒が主体的に取り組むことのできる学習活動を推進するとともに、ICT 機器を効果的に活用することで、分かりやすくかつ深い学びを体感できる授業を実践する。【きづく】</p> <p>③児童・生徒が主体的に選択・判断する教育活動の充実 ○学校行事、学年行事や委員会活動などの取組を、生徒を中心とした生徒主体の活動にしていくことで、生徒自ら問題を解決していく力や合意形成を図っていく力を育成する。また、生徒の自己指導能力を高めるために、教員と生徒との共感的信頼関係の下、生徒が自己決定できる場を多く設定するなど、生徒を第一においた生活指導を推進する。【たかめる】</p>	<p>全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実</p> <p>①いじめの未然防止・早期発見・早期対応等の徹底 ○暴力やいじめは、人間として絶対に許されない行為として、学校、家庭、地域が共通認識を図り、規範意識を醸成し、明るく豊かな学校生活の実現に努める。また、学校いじめ防止基本方針に基づく教員研修・いじめに関する授業・いじめに関するアンケートをそれぞれ年3回実施し、計画的にいじめの未然防止に取り組む。【きづく】</p> <p>②長期欠席児童・生徒への支援の充実 ○不登校生徒などの登校することに抵抗感をもつ生徒のために、一人一人の適切なアセスメントを行い関係機関と連携しながら効率的な支援ができるよう学校の組織力を高めていく。サポートルームを設置し、登校時の居場所づくりをするとともに、不登校対応のための人員配置を工夫して、学校生活との関わりをつくりながら学びの機会としての充実を図る。【たかめる】</p> <p>③多様な教育ニーズ等への対応、男女平等教育の推進 ○道徳科や社会科、総合的な学習の時間における学習を通して、異文化理解や LGBT への理解、男女平等に関わる活動などを推進し、あらゆる偏見や差別をなくし、グローバルな国際社会の中で主体的に生き抜いていく力や態度を育成する。【きづく】</p> <p>④特別支援教育の充実 ○障害のあるなしにかかわらず、生徒のニーズに合わせた支援を組織的に行うために校内委員会を充実させ、アセスメントに基づいた支援の在り方を充実させる。また、個別指導計画の活用を通して、特別支援教室の拠点校との連携をより円滑にして、障害のある生徒が、将来自立し、他者ととも生きる力が身に付けられるよう特別支援教育を推進する。【たかめる】</p>	<p>義務教育 9 年間を見通した系統的な教育活動の充実</p> <p>①「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の充実 ○府中囃子保存会との連携、校外学習などの特別活動や総合的な学習の時間において「ふるさと府中」の自然や文化、歴史、産業等を横断的、探究的に学習する活動を推進していく。特に、実際に目で見たり体験したりする取組を通して、地域を愛し地域に貢献していく態度や力を育成する。【きづく】</p> <p>②小・中の円滑な接続を図る宿泊体験学習の実施 ○小・中連携による共通理解や共通実践を通して、学習内容の系統性、生活指導の連続性と継続性を重視し、生徒が安心して中学校生活を送ることができる取組を推進する。宿泊体験学習は、小学校の宿泊体験学習の目標を考慮して目標を設定し、より良い人間関係を形成するための集団生活を学ぶとともに、学級や学年の絆を深める場として充実を図る。【つながる】</p> <p>③英語教育の充実 ○外国語教育において、「世界とつながる英語 Enjoy Week」を設け、その期間中に TGG を活用した英語体験学習を実施する。また、第3学年の総合的な学習の時間に、地域の大学と連携し、留学生との異文化交流を英語で行い、自国文化を発信し、異文化の違いについて理解を深められるように指導する。【つながる】</p> <p>④児童・生徒が主体的に行動できる安全教育・防災教育及び生活指導の充実 ○避難訓練、安全指導や防災訓練を計画的に実施し、災害や犯罪被害に対する知識や安全のための行動のしかたを身に付けさせる。また、毎年第1学年の生徒と地域の方々の参加による地域防災スクールを実施し、地域の防災意識を高め、防災拠点としての準備を整える。【つながる】</p>

